

# SHIZUOKA

# J · O · U · R · N · A · L

Vol.28 No.2 2018 (通巻203号)

目 次

巻頭言	「教えるって難しい!？」 副会長 廣澤 賢一	1
会告	第24回 静岡県放射線技師学術大会	2
	・演題募集	
	・演題区分表	
	・演題申込用紙	
	第4回業務拡大に伴う統一講習会(12/1, 2)	5
	第12回医療安全セミナー(12/8)	6
	第17回静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会(12/23, 24)	7
	新春公開講演会(1/12)	8
	第27回アール祭(1/12)	9
	第37回放射線技師のためのセミナー(1/19)	10
	第5回業務拡大に伴う統一講習会(2/16, 17)	11
	第60回東海四県放射線技師学術大会(愛知)(2/3)	12
	第75回超音波部会研修会(2/16)	13
	第51回アンギオ部会研修会・第10回静岡県MRI技術研究会 ・平成30年度静岡県放射線技師研修会(3/16)	14
報告	第73回超音波部会研修会(6/16)	15
	第8回フレッシューズセミナー(6/23)	16
	第35回放射線技師のためのセミナー(6/30)	17
	第2回ワークライフバランス検討委員会勉強会(7/7)	18
	平成30年度第2回業務拡大に伴う統一講習会(7/21, 22)	19
	第39回静岡ふれあい広場(9/9)	20
	第74回超音波部会研修会(10/20)	22
学術論文	第74回超音波部会研修会(10/20)	23
連載企画	突撃!!となりの放射線科	34
受賞記念	第34回日本放射線技師学術大会演題優秀賞	38
	メッセージボード	39
	本会の歩み	42
	会員動静	43
	本会への寄贈図書	44
議事録	平成30年度 第2回理事会議事録(8/25)	45
	行事予定カレンダー	59



## 『教えるって難しい! ?』

(公社) 静岡県放射線技師会 副会長 廣澤 賢一



「私の趣味は、ネットサーフィンである。」と胸を張って言えることではないですが、結構暇にあかせて、ネットでいろいろな記事を読むことを楽しみにしています。少し前に、面白い記事があったので紹介したいと思います。その記事は、「ほうれんそうのおひたし」という組織運営上の基本的な考え方を書いたものです。皆さんもご存じのとおり、「ほうれんそう」とは、「報告・連絡・相談」は人の体に例えるなら動脈ともいえる組織運営に欠かせない事項です。ですが、皆さんの各施設で確実にこれらのことが履行されているのでしょうか?もしかすると「報連相」ができない方がいたりしませんか?私の施設でも、何度注意しても改善されないため、ついつい強い口調で指導してしまうことが過去にありました。報告事項がうまくいっているときは良いのですが、うまくいかなかったときや失敗したときなど、得てして指導する側や上役は、「なぜこんなことができないのか?どうしてこんなことをするのか?」と考え、強く高圧的に指導しがちですが、結果指導を受けた側は委縮し、次の「報連相」に対して二の足を踏むようになります。ここで「おひたし」の出番なのです。「おひたし」は「報連相」に対して実施する指導者側の行動で、「お:怒らない ひ:否定しない た:助ける(困りごとがあれば) し:指示する」の頭文字です。芳しくない結果でも、結果は結果です。そのことに対して怒ったり否定したりしても、結果は変わりません。指導者としてすべきことは、その結果に対して、フォローや次回に繋げるような指導をするなどの合理的な対策をとる

ことであると思います。

また、そういった指導をすることで、次回からの「報連相」を、速やかに躊躇なくすることができるようになると思います。まとめますと、「ほうれんそう」→「おひたし」→「ほうれんそう」→・・・と繰り返すことで、確実に「報連相」が実施できると、その記事には載っていました。

さて、この「おひたし」ですが、記事では「報連相」についての有効性が挙げられていましたが、私は、新人指導全般に言えることではないかと考えました。現在、指導にはハラスメントという問題が必ずついて回ります。指導する側は問題ないと思っている行為でも、される側の受け取り方によってはハラスメントになるからです。当然、感情的に怒ったり、頭ごなしに否定したりすることは、ハラスメント以外の何物でもないと思います。はじめから上手に撮影できたり、きちっとした報告やそつのない受け答えができたりする人はいません。経験を積んで上手になっていくものですし、私たち自身もそうして成長してきたのではと思います。

また、そういった経験の習得時間にも個人差があると考え指導をしていくことで、指導する側とされる側のよりよい関係が築かれるのではないのでしょうか。

私も覚えの良いほうではありませんので、いろいろと会員の皆様にご協力をお願いすることが多々あると思いますが、今期2年間、副会長としての会務をがんばって執行していこうと思っています。

# 会 告

## 第24回静岡県放射線技師学術大会 演題募集

2019年5月26日（日）に、第8回（公社）静岡県放射線技師会定時総会及び第24回静岡県放射線技師学術大会を開催いたします。

開催にあたり、本学術大会において研究発表演題を下記により募集いたしますので、多数の演題をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

### 記

【日 時】 2019年5月26日（日）

【会 場】 浜松プレスタワー17F「静岡新聞ホール」

〒430-0927 静岡県浜松市中区旭町11-1

TEL：053-455-2001（代表）静岡新聞社・静岡放送21世紀倶楽部

【発表形式】 ① 口述発表 発表時間7分 討論3分

② 液晶プロジェクターを使用したPCプレゼンテーション

（Windows用Microsoft Office Power Point 2016）を基本とします。

【発表資格】 発表者および共同発表者は、平成30年度会費完納の会員および賛助会員に限ります。会費未納者を含む演題申し込みはできませんのでご注意ください。

【応募方法】 静放技ホームページ（<http://shizuhogi.jp>）より演題申込書をダウンロードしてください。必要事項を記入したうえで、電子メールに添付し、件名に「演題申込」と明記して下記アドレスまで送信してください。

演題申込メールアドレス：endai.entry@shizuhogi.jp

【受理通知】 演題受理の通知を、申込みメールアドレスに返信します。申込み後7日を経過しても通知のない場合は、通信トラブル等考えられますので、お問い合わせください。なお、演題採用者には後日抄録集の作成に協力いただきます。

【締め切り】 2019年1月20日（日）必着

【お問い合わせ】

静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202

（公社）静岡県放射線技師会 TEL 054-251-5954

FAX 054-251-9690

## 演 題 区 分 表

演題主区分	区分番号	区 分 内 容
X 線 撮 影	A	単純・造影・断層撮影技術 アンギオ・DSA・FPD撮影技術 機器、画像処理技術、補助具 品質管理、画像評価 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
X 線 C T	B	CT撮影・処理技術 機器、画像処理技術、補助具、品質管理 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
M R I	C	MRI撮影・処理技術 機器、画像処理技術、補助具、品質管理 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
核 医 学	D	インビトロ（試料測定一般） インビボ（体外測定一般） 機器、画像処理技術、品質管理 放射性医薬品、臨床応用、その他
放 射 線 治 療	E	治療計画・照合・計測、照射技術 機器、補助具、品質管理 ラジオサージェリー、小線源照射、温熱療法 その他
超 音 波	F	検査技術一般、臨床応用 機器、品質管理、その他
そ の 他 の 検 査	G	骨塩定量検査・機器 体外衝撃波結石破碎装置、眼底撮影、その他
放 射 線 管 理	H	放射線管理一般、法令 被曝防護、特性・遮蔽計算その他
画 像 情 報	I	画像解析、画像評価、画像処理技術 HIS-RIS、PACS画像通信・保存、読影システム その他
情 報 管 理 ・ 運 営	J	読影補助、業務統計処理、人材育成 マネジメント、医療経営、広報、その他
ペーシエントケア	K	

年 月 日

第 24 回 静岡県放射線技師学術大会

演題申込用紙 2019年1月20日(日)必着

演題名 (区分番号)	( ) 演題区分表参照		
	所属施設・部署	会員番号(必須)	氏名(フリガナ)
発表者			
共同発表者			
演題予稿 原稿 (300字程度に おまとめくだ さい)			
代表者連絡先	氏名		
	住所 〒		
	所属		
	TEL (内線)	FAX	
	E-mail		
通信欄			

※ご記入内容は予稿集の作成データとなります。お間違えございませんようお願いいたします。

送付先 E-MAIL : [endai.entry@shizuhogi.jp](mailto:endai.entry@shizuhogi.jp)

TEL : 054-251-5954

# 会 告

## 平成30年度 第4回業務拡大に伴う統一講習会

診療放射線技師法が2014年6月18日に一部改正が行われました。具体的にはCT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の針の抜針と止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入を含めて）、画像誘導放射線治療時、腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入と診療放射線技師の業務内容が拡大されました。以上の業務を行うための絶対条件として、医療の安全を担保することが求められています。そのため、日本診療放射線技師会では業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とした講習会を2日間にわたり実施することとしました。静岡県では下記の通り開催いたします。

記

- 【日 時】 平成30年12月1日、12月2日  
【場 所】 すずかけセントラル病院 大会議室  
〒432-8054 静岡県浜松市南区田尻町120-1  
【受 講 料】 会員：15,000円 非会員：60,000円  
【お申し込み】 日本診療放射線技師会ホームページ、JART情報システム内のメニュー「生涯学習」イベント参加申込みから申込み下さい。9月15日より受付開始。（JART情報システムは会員、非会員を問わず登録可能です。）

### 【内 容】

1日目 12月1日	2日目 12月2日
9：00～9：15 受付	9：00～9：15 受付
9：15～9：20 開講式	9：15～9：20 開講式
9：20～10：10 下部消化管 DVD放映	9：20～10：10 静脈注射 DVD放映
10：10～11：00 下部消化管 DVD放映	10：10～11：00 静脈注射 DVD放映
11：00～11：10 休憩	11：00～11：10 休憩
11：10～12：00 下部消化管 DVD放映	11：10～12：00 静脈注射 DVD放映
12：00～12：40 昼休憩	12：00～12：40 昼休憩
12：40～13：30 下部消化管 DVD放映	12：40～14：00 静脈注射 実習
13：30～14：20 法改正 DVD放映	14：00～14：10 休憩
14：20～14：30 休憩	14：10～15：00 下部消化管 実習
14：30～15：20 IGRT DVD放映	15：00～15：50 IGRT 実習
15：20～16：10 IGRT DVD放映	15：50～16：00 休憩
16：10～16：20 休憩	16：00～17：00 BLS 実習
16：20～17：10 IGRT DVD放映	17：00～17：50 確認試験



【JR浜松駅】  
バスで約10分  
(4番乗り場 小沢渡線 法枝・小沢渡方面行き)

\*駐車場はありますが、なるべく公共交通機関を利用してお越しください。

生涯教育委員

# 会 告

## 『第12回 医療安全セミナー開催について』

医療法により、病院の医療安全確保に関する以下の感染予防対策が義務づけられています。

- ・ 院内感染対策のための指針の策定
- ・ 院内感染対策のための委員会の開催
- ・ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施
- ・ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施

今回、感染予防対策推進室の看護師の立場から考える診療放射線技師の感染予防についてお話していただきます。感染予防に関して興味深い内容になっているので、皆様のご参加をお待ちしています。

### 記

【日 時】 2018年12月8日(土曜日) 15時00分～

【場 所】 静岡県放射線技師会事務所  
〒420-0064 静岡市葵区本通り1-3-5 フェリス本通202号

【参加費】 無料

【内 容】

14:30～15:00 受付

15:00～16:00 「診療放射線技師が知るべき院内感染予防対策について」

演者：浜松医療センター 認定看護師 葛原 健太氏

16:00～17:00 会員発表「各施設で行っている感染予防について」

- ・ 国際医療福祉大学 熱海病院 秋津 賢太 会員
- ・ 市立島田市民病院 和田 一也 会員
- ・ 中東遠総合医療センター 畑中 貴台 会員



無料の駐車場は用意しておりません。  
公共交通機関をご利用いただくか、有料の駐車場をご利用ください。

【JR静岡駅から】

- ・ 駅から徒歩（所要時間：20分）
- ・ 静岡駅北口、バスターミナルから本通り6丁目方面（80, 84, 85, 92, 96, 97, 98）に乗車し、「本通り3丁目」にて下車（所要時間：10分）

# 会 告

## 『第17回静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会 開催案内』

静岡県放射線技師会は、NPO法人 日本乳がん検診精度管理中央機構（以下、精中機構）と共催し、下記の通り『第17回静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会』を開催いたします。

記

【日 時】 平成30年12月23日(日)～24日(月・祝)

【場 所】 聖隷三方原病院  
〒433-8558  
静岡県浜松市北区三方原町3453



【参加費】 32,400円(税込)：日本診療放射線技師会、静岡県放射線技師会の会員  
(年会費未納者はこれに該当しません)  
37,800円(税込)：非技師会員

【内 容】 精中機構の講習会プログラムに準ずる

- 全体講義      マンモグラフィの基礎（物理・撮影技術・被ばく）  
                         マンモグラム読影の基礎とカテゴリー分類・乳癌の病理と臨床  
                         マンモグラフィのポジショニングと接遇
- グループ実習      読影実習・ポジショニング・臨床画像評価  
                         線量線質・機器管理・画像管理・画像形成  
精中機構による試験および評価を行う
- 個人評価試験      読影試験・筆記試験・臨床画像評価

※受講申し込みは定数に達したため締め切られました。

※詳細は技師会ホームページのトピックスよりご確認下さい。

# 会 告

## 新春公開講演会開催

新春公開講演会を下記の通り開催致します。

本年度は公開講演を2演題企画いたしました。私たち診療放射線技師も初心に立ち返り県民の皆様のお役に立てますよう一緒に勉強してまいります。公開講演1ではAI（Artificial Intelligence）人工知能についてご講演していただきます。私たちの生活の中で身近となってきた人工知能が医療へ応用されてきている中、今回は放射線診療における人工知能について最新の動向や知見について学んでいきます。公開講演2では、大腸がんについて現場の最先端で活躍されている臨床の先生からご講演をいただきます。最新の大腸がんの診断から治療までを学んでいきます。

つきましては、ご家族やご近所様、職場の方など皆様お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。講演会終了後、懇親会を兼ねアール祭を開催いたします。新年のご挨拶の場、親睦を深める場としてご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

【日 時】 平成31年1月12日（土） 13：30～16：30

【会 場】 静岡商工会議所静岡事務所会館 5F ホール

〒420-0851 静岡市葵区黒金町20-8 Tel：054-253-5111

※ご来場の際は、できる限り公共交通機関をご利用ください。

【参加費】 無料

【内 容】

13：30～ 受付

13：55～14：00 会長挨拶

14：00～15：00 公開講演1

『人工知能により医療はどのように変わるか』

講師：聖マリアンナ医科大学大学院医学研究科

医療情報処理技術応用研究分野 教授 小林 泰之 先生

座長：静岡済生会総合病院 山崎 敬之 会員

15：00～15：15 休憩

15：15～16：15 公開講演2

『大腸の外科治療』

講師：静岡県立総合病院 消化器外科主任医長 大端 考 先生

座長：静岡県立総合病院 杉浦 靖幸 会員

※引き続き親睦会（アール祭）が開催されます。

詳細につきましては別紙会告にてご確認ください。

\*技師会員はIDカードをご持参ください。

# 会 告

## 第27回アール祭開催

新春公開講演会終了後、第27回アール祭を開催いたします。

新年のご挨拶の場、親睦を深める場としてご参加くださいますようお願い申し上げます。

今回は倉田富雄会員の叙勲祝賀も同時開催いたしますので、皆様ふるって参加をお願い致します。

### 記

【日 時】 平成31年 1月12日(土) 17:00～

【会 場】 静岡第一ホテル 2階 富士の間

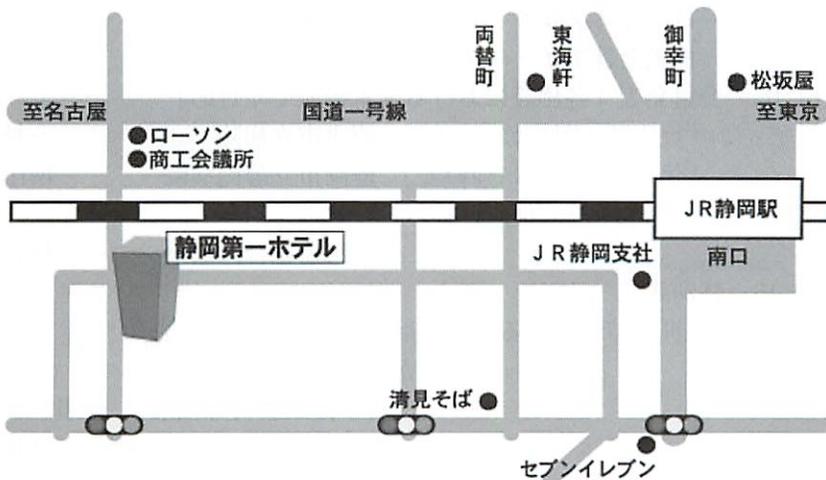
〒422-8066 静岡県静岡市駿河区泉町1-21

TEL 054-281-2131

【内 容】 第27回アール祭(新春祝賀会)並びに叙勲祝賀会

【会 費】 正会員 5,000円

賛助会員 5,000円



# 会 告

## 『第37回放射線技師のためのセミナー』開催のご案内

管理士部会では、「第37回放射線技師のためのセミナー」を下記の通り開催いたします。

今回は「非常時・災害時の対応」をテーマとしました。今年は全国で数多くの自然災害に見舞われ、静岡県内でも大規模停電が発生しました。災害時などに我々診療放射線技師がどのように対応すべきかを考える機会にしたいと思います。特別講演は、日本診療放射線技師会理事の江藤 芳浩先生に、JARTが来年度以降に発足を目指している災害支援認定診療放射線技師制度の話題などについて、ご講演をお願いしております。多くの皆様の御参加をお待ちしております。

### 記

【日 時】 平成31年1月19日(土)  
13:30~17:15 (13:00受付開始)

【場 所】 静岡県産業経済会館 3階 第1会議室  
静岡市葵区追手町44番地の1

【参加費】 1,000円

### 【内 容】

- 13:00 受付開始
- 13:30~15:10 最新技術講演  
富士フィルムメディカル株式会社  
コニカミノルタ ジャパン株式会社  
株式会社アイ・エス・ビー
- 15:10~16:05 会員発表「各施設における非常事態での対応」  
「災害時の対応について」 沼津市立病院 一杉 光俊 会員  
「停電時の対応について」 静岡市立静岡病院 増田 秀道 会員  
「ネットワーク障害時の対応について」  
中東遠総合医療センター 糟谷 信貴 会員
- 16:15~17:15 特別講演  
「災害時における診療放射線技師の役割  
-JARTが進める災害支援制度について-」  
日本診療放射線技師会 理事  
大分県放射線技師会 会長 江藤 芳浩 先生



※セミナー受講者には、日本診療放射線技師会学術研修カウントが付与されます。

# 会 告

## 平成30年度 第5回業務拡大に伴う統一講習会

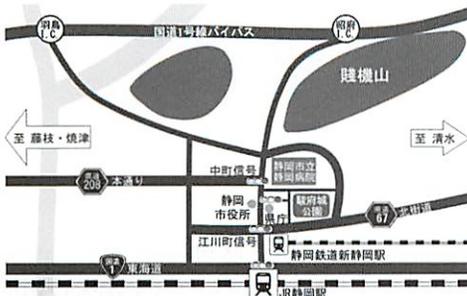
診療放射線技師法が2014年6月18日に一部改正が行われました。具体的にはCT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の針の抜針と止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入を含めて）、画像誘導放射線治療時、腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入と診療放射線技師の業務内容が拡大されました。以上の業務を行うための絶対条件として、医療の安全を担保することが求められています。そのため、日本診療放射線技師会では業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とした講習会を2日間にわたり実施することとしました。静岡県では下記の通り開催いたします。

記

- 【日 時】 平成31年 2月16日(土)、2月17日(日)  
【場 所】 静岡市立静岡病院 東館11階 会議室  
〒420-8630 静岡市葵区追手町10番93号  
【受 講 料】 会員：15,000円 非会員：60,000円  
【お申し込み】 日本診療放射線技師会ホームページ、JART 情報システム内のメニュー「生涯学習」イベント参加申込みから申込み下さい。(受付開始12月1日～)  
(JART情報システムは会員、非会員を問わず登録可能です。)

### 【内 容】

1日目 2月16日	2日目 2月17日
9:00～9:15 受付	9:00～9:15 受付
9:15～9:20 開講式	9:15～9:20 開講式
9:20～10:10 下部消化管 DVD放映	9:20～10:10 静脈注射 DVD放映
10:10～11:00 下部消化管 DVD放映	10:10～11:00 静脈注射 DVD放映
11:00～11:10 休憩	11:00～11:10 休憩
11:10～12:00 下部消化管 DVD放映	11:10～12:00 静脈注射 DVD放映
12:00～12:40 昼休憩	12:00～12:40 昼休憩
12:40～13:30 下部消化管 DVD放映	12:40～14:00 静脈注射 実習
13:30～14:20 法改正 DVD放映	14:00～14:10 休憩
14:20～14:30 休憩	14:10～15:00 下部消化管 実習
14:30～15:20 IGRT DVD放映	15:00～15:50 IGRT 実習
15:20～16:10 IGRT DVD放映	15:50～16:00 休憩
16:10～16:20 休憩	16:00～17:00 BLS 実習
16:20～17:10 IGRT DVD放映	17:00～17:50 確認試験



### 【JR静岡駅から】

- 徒歩 15分  
バス 7分  
タクシー 5分

※駐車場はありますが、なるべく公共交通機関を利用してお越しください。

生涯教育委員

# 会 告

## 『第60回東海四県放射線技師学術大会(愛知)』 大会テーマ「趨勢の変化を捉える」

今回のテーマは『趨勢の変化を捉える』と題し、名古屋コンベンションホールにて開催されます。

まず、セミナーでは「乳がんの最前線」と題し、各分野の専門家により、必要な画像情報にどのように付加価値を付けて提供していくかをご紹介いただき、診療放射線技師としてがん診療にどのように参画していくのかを学びたいと思います。さらに、講演1「遺伝性がん診療(仮題)」による最新の話題提供へと繋げたいと考えております。

午後からの講演では、「医療被ばくにおける最近の話題(仮題)」と題し、講演をいただく予定でおります。

また、シンポジウムでは、「CTテクノロジーのトレンドがもたらす臨床技術」と題し、ますます進化するCTテクノロジーについて、各県のスペシャリストが集い、どのように扱い、どのように評価し、どのように臨床にフィードバックしていくべきか、多様な観点からのディスカッションを予定しております。

大会趣旨をご理解いただき、実りある大会になりますよう、会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

### 記

【日 時】 2019年2月3日(日) 9:30~16:00

【場 所】 名古屋コンベンションホール  
愛知県名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート

【参加費】 会員:2,000円

【内 容】 9:30 当番県挨拶  
9:35~10:00 情報提供 ゲルベジヤパン  
10:00~11:10 セミナー「乳がん検査の最前線」  
11:10~12:10 講演1「遺伝性がん診療(仮題)」  
12:20~13:10 ランチョンセミナー  
13:20~14:20 講演2「医療被ばくにおける最近の話題(仮題)」  
14:20~15:50 シンポジウム「CTテクノロジーのトレンドがもたらす臨床技術」  
16:00 閉会の辞

# 会 告

## 『第75回 超音波部会研修会開催について』

今回は、頸動脈エコーをテーマとして研修会を行います。

昨年、頸動脈エコーの標準的評価法が改定され徐々に臨床の場でも利用されるようになってきました。改訂から1年経ち、標準的評価法の疑問点や問題点について東邦大学医療センター大森病院の八鍬先生にお話しいただきます。

また、スキルアップ講座として、最近技師への移行が進む胎児のスクリーニング検査についてお話していただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

### 記

【日 時】 平成31年2月16日(土) 14:30～

【場 所】 静岡赤十字病院 2号館4階 第1会議室  
静岡県静岡市葵区追手町8-2

【参加費】 1,000円(技師会会員および他職種)  
非会員の放射線技師は2,000円

### 【内 容】

14:00 受付開始

14:30～15:00

メーカー講演「超音波診断装置Aplioシリーズの新たな展望」

キヤノンメディカル株式会社様

15:00～15:30

スキルアップ講座『胎児エコースクリーニング』

富士市立中央病院 大森 知枝 会員

15:30～16:00

教育講演『頸動脈MRIについて』

静岡県立総合病院 石上 弘道 会員

～休憩～

16:10～16:40

会員発表『新しい頸動脈標準的評価法の導入しての問題点と疑問点』

静岡県立総合病院 大野 遥香 会員

16:40～17:40

特別講演『標準的評価法を踏まえた頸動脈超音波検査の実際

～なにが変わった？変わらないものはなに？～

東邦大学医療センター大森病院 八鍬 恒芳 先生

# 会 告

## 『第51回アンギオ部会研修会・第10回静岡県MRI技術研究会 平成30年度 静岡県放射線技師研修会』

今回のテーマは、『診療放射線技師が知っておきたい頭頸部救急疾患における撮影技術と読影ポイント』です。近年の医療画像診断装置の急速な進歩は、救急医療における撮影並びに画像診断の重要性をさらに高めており、診療放射線技師の読影能力が、診療の効率化や診断精度向上に大きく貢献していることは言うまでもありません。本研修会が、診療放射線技師としての資質向上に繋がれば幸いです。

また、今年度も安藤英次先生をお招きして教育講演をして頂く予定です。  
会員の皆様の多数の参加をお待ちしております。

記

- 【日 時】 平成31年3月16日(土) 10:30～17:00 (受付開始10:00～)  
【場 所】 ペガサート6F B-nest プレゼンテーションルーム  
【参加費】 1,500円  
【内 容】 10:00～ 受付開始  
10:30～10:50 共催メーカー情報提供 (バイエル薬品)  
11:00～12:00 会員発表「頭頸部救急疾患 撮影技術について」  
CT : 中東遠総合医療センター 鈴木 康章 会員  
MR : すずかけセントラル病院 山田 洋次 会員  
Angio : 富士脳障害研究所附属病院 曾我 隆正 会員  
12:10～13:10 ランチョンセミナー (GEヘルスケア・ジャパン)  
「頭頸部領域におけるMR撮像最新技術 (仮)」  
13:30～14:30 会員発表「頭頸部救急疾患 症例紹介と読影のポイント」  
CT : 富士宮市立病院 清 広和 会員  
MR : 浜松労災病院 河添 克典 会員  
Angio : 静岡県立総合病院 中山 僚 会員  
14:40～15:40 特別講演「脳外科医が診療放射線技師に求める読影力とは(仮)」  
蒲郡市民病院 脳神経外科部長 小出 和雄先生  
15:50～16:50 教育講演「趾・足関節の立位撮影におけるX線計測によるアライメント評価」  
奈良県立医科大学附属病院中央放射線部副技師長  
安藤 英次先生  
16:55 閉会

本会は ・日本磁気共鳴専門技術者認定機構により、磁気共鳴専門技術者更新点数5単位  
・日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構の認定講習会  
の認定を受けております。

- ・日本救急撮影認定機構の認定講習会
- ・CT認定技師更新点数単位 は申請中です。

共催： 静岡県放射線技師会企画調査委員会、静岡県放射線技師会アンギオ部会、  
静岡県放射線技師会MRI部会  
バイエル薬品株式会社、GEヘルスケア・ジャパン株式会社

# 第73回 超音波部会研修会 報告

平成30年6月16日(土)  
静岡赤十字病院

平成30年6月16日(土)、静岡赤十字病院にて第73回超音波部会研修会が開催されました。

まずメーカー講演では、(株)日立製作所の鳥澤氏よりARIETTA850の製品紹介がありました。新機能として「Combi-Elasto」が搭載されており、2種類のエラストグラフィであるReal-time Tissue ElastographyとShear Wave Measurementが同時に測定でき、肝臓の線維化・炎症の程度を評価するのに役立ちます。

つぎに「超音波検査の人材育成」をテーマに、4施設の先生にお話をいただきました。

玉田宏一会員からは、富士宮市立病院では研修者の習得状況を把握するためにcheckシートを用いており週に1回、研修状況をモダリティーの担当者と所属長が確認します。

前澤圭亮先生(臨床検査技師)からは、静岡赤十字病院では1人の指導者が研修を担当することで、指導者の意見がバラバラになるといったような混乱を防いでいます。また研修状況を報告書で提出し、学んだことや今後の課題を指導者がチェックします。

岡村将弥会員からは、NTT東日本伊豆病院では臨床検査技師と放射線技師の両方が健診エコー業務を担当しており、検査説明や質問対応等の業務統一化を図るために、細かくマニュアルが作成されています。このマニュアルに沿って研修を行うことで指導者間の差が少なくなっています。

米山昌司先生からは、静岡がんセンター(専門病院)では研修プログラムがあり、1週目は見学、2週目からは実際の検査を開始し指導者とのダブルチェックを行います。その後は症例数の目標を設定して研修し、2年目からは学会発表、3年目からは検査士取得を目指していきます。がんの症例数は圧倒的に多いが、虫垂炎や大腸炎といった症例はほとんど経験できないということでした。

個々に研修の様子を紹介していただいた後、4名の先生方全員が前に出て、質問を受けていた

きました。指導者を固定したほうがいいのか、研修者のモチベーションを維持するにはどうしたらよいかなど研修時の悩みに答えていただきました。普段はなかなか聞くことができない他施設の研修方法は、多くの方の参考になったと思います。

最後に特別講演として「急性腹症における消化管の超音波検査」と題して、三重県立総合医療センターの安本浩二先生に講演していただきました。

先生が実際に経験した症例をあげながら、代表的な急性腹症を解説していただきました。急性腹症では、虫垂炎におけるアイソレーションサインといったように白いものを見つけることを意識すると病変を早く見つけられます。

虫垂炎においては腫大した虫垂を必ず2方向で根部から盲端まで観察し、周囲消化管の変化も観察することが重要であり、術後であっても遺残虫垂が炎症を起こすこともあるので注意が必要です。正常虫垂が見えない場合は、周囲の炎症変化の確認が必要です。

腸閉塞やイレウスでは、拡張した腸管の部位と範囲、原因、そして腸管に壊死があるかどうかを確認する必要があります。腸管に血行障害が起こると最初に静脈がうっ滞し、その後動脈の循環不全となります。早い段階で見つけるために、超音波造影剤を使う方法があり、静脈がうっ滞している場合は染まりが遅くなります。

小児消化管においては、珍しい症例として中腸軸捻転が紹介され、患児は強い上腹部痛を訴え、胃の拡張や、SMAの周囲に巻き付いているような腸管が見られました。

急性腹症の場合は患者の痛みも強い場合が多く、なるべく短時間で検査を終わらせたいと思います。今回は早く病変を見つけるコツもお話ししていただき、とても参考になりました。

市立島田市民病院 前島由佳

# 第8回 フレッシュャーズセミナー 報告

平成30年6月23日  
静岡県放射線技師会事務所

平成30年6月23日に静岡県放射線技師会事務所にて、第8回フレッシュャーズセミナーを開催しました。

本セミナーは日本診療放射線技師会が主催し、各県の放射線技師会において平成23年度より毎年開催されています。

日本診療放射線技師会は平成13年度、会員数が約32000名であったのですが、ここ数年で団塊の世代の方々の退職や技師会離れが進み、現在では28000名程度と減少してきています。これは静岡県においても同様です。この状況に歯止めをかけるべく、特に新人の方を対象とし、技師会活動の理解を深めていただくこと、また医療者として必要な基礎知識を身につけ、医療及び保健・福祉の向上に努めることを目的として開催しました。

当日はあいにくの雨の中、参加人数は合計30名、そのうちフレッシュャーズは24名でした。

内容としては、入会案内、ランチョンセミナー、エチケット・マナー、医療安全、感染対策、胸部・気管支解剖でした。

入会案内は山本英雄会長から職能団体としての日本診療放射線技師会の活動、静岡県放射線技師会の歩みや会員の動向及び会費についての説明があり、会員になって頂けるように働きかけがありました。

ランチョンセミナーは日本メジフィジックス社のご協力のもと、RI検査の基礎から、最近の話題までとRI検査について多岐にわたる内容でご講演をいただきました。

エチケット・マナー講座では身だしなみや挨拶など基本的なことを中心に、対応する技師の接遇によって与える印象が様々であることや、電話の対応、電子メールの書き方などの説明を、受講者参加型で行われました。

医療安全講座では、基本的な考え方や医療安全の確立における今までの経緯を説明し、過去に報道された事例の紹介、講師自身が体験した事例を紹介しました。身近な事例を知ることにより、医療事故の発生率や重篤度を抑制できるなどの説明がされました。

感染対策講座では、空気、飛沫、接触による感染経路や感染症の事象を中心に、直接患者さんに触れるケースが多いため、自分自身がいかに清潔に保ち患者さんからの感染を防ぐか、手指消毒の重要性と方法の説明がされました。

胸部・気管支解剖講座は、気管支の走行や支配について画像を参考にしながら、気管支の分岐（10分枝）を体操仕立てにした気管支体操を交えて習得してもらいました。また、一般撮影とCT画像を用いて肺の機能や疾患についての説明がされました。

これらの内容は、勤続年数に関係なく知っておかなければならない事であり、常に必要な知識でもあります。来年度も新卒者だけではなく、幅広く参加者を募っていきたいと思いますので、皆様に興味を持っていただき、魅力ある内容で開催できるようにしたいと思います。



生涯教育委員 曾我 隆正

# 第35回 放射線技師のためのセミナー 報告

平成30年6月30日  
静岡県産業経済会館 第1会議室

平成30年6月30日（土）に、静岡県産業経済会館 第1会議室にて、「第35回放射線技師のためのセミナー」を開催いたしました。当日は非常に蒸し暑く、不快指数の高い一日でしたが、40名（すべて会員）の方に参加していただきました。

今回のテーマは「放射線機器管理」で、企業講演では「最新の一般撮影装置」の内容で3社から製品紹介を含めた講演をしていただきました。

GEヘルスケアジャパン株式会社からは、機器管理、線量管理、画像画質管理の観点から講演がありました。標準品質管理ツール、トモシンセシス、長尺撮影機能等の紹介があり、デュアルエナジーサブトラクションについては、胸部健診での有用性に関する臨床データを用いて説明がされました。株式会社島津製作所からは、最新装置紹介とユーザー点検の方法などを中心に講演していただきました。オート付加フィルタ、ブッキー連動、オートポジショニングなど様々な機能と、自動長尺撮影、金属アーチファクト低減を可能にしたトモシンセシス等のアプリケーションが紹介されました。株式会社フィリップスジャパンからは、自社のX線装置開発の歩みと最新技術について講演していただきました。ワークフローに優れた様々な機能や、40～50%の線量低減とグリッドと同等の画質再現を可能にした散乱線除去処理機能についての詳細な説明がありました。

会員発表では、各施設での放射線機器管理について、3施設の会員に発表していただきました。聖隷沼津健康診断センターの坪内秀生会員からは、検診車を中心とした放射線機器管理について、日常点検の実際やトラブル対処に関する発表がありました。過去のトラブル事例を記録し、起こりやすいトラブルについては誰もが迅速に対処できるようにマニュアル化されているとのことでした。静岡赤十字病院の遠藤基生会員からは、装

置の始業・終業点検にスポットをあてた発表がありました。点検の実際と、点検を実施したことでの成果事例が詳細に報告され、始業・終業点検の重要性を再認識させられる内容でした。浜松医療センターの中村文俊会員からは、施設での装置管理の現状について発表がありました。放射線機器の法令を踏まえながら、機器管理士が行っている業務内容、始業点検の実際、自施設で実施している不変性試験について詳細に説明がされ、機器管理体制がしっかりと整備され、機能していることがうかがえる内容でした。

特別講演は、昭和大学病院 放射線技術部長の佐藤久弥先生をお招きして、「放射線機器管理のあるべき形や重要性などについて」と題して講演していただきました。機器管理に関連する法令、全国の施設における機器管理の実情、日常点検の方法、トラブルの評価方法などを解説していただき、患者の安全確保を目的とした機器管理の重要性とあるべき形について理解することができる内容でした。

今後も多くの会員の皆様にご参加いただけるような内容を企画して参りたいと思います。最後に、参加していただいた会員の皆様ならびに講演していただいた皆様に厚く御礼申し上げます。



管理士部会長 鈴木 康太

## 第2回 ワークライフバランス検討委員会勉強会 報告

平成30年7月7日  
JR静岡駅ビル パルシェD会議室

平成30年7月7日（土）にJR静岡駅ビル パルシェ D会議室にて、第2回ワークライフバランス検討委員会勉強会「みんなのハラスメント対策講座」と題し、開催いたしました。

ベテランから新人まで幅広い年齢層、立場の方々にご参加下さいました。（会員18名、非会員1名、合計19名）

今回は、藤田保健衛生大学医療科学部看護学科講師の伊藤桜子先生をお招きし、ご講演いただきました。先生は指導健康心理士の立場から、ハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ）の基礎知識と判定基準を身につけることを目的に、ご講演いただきました。

最近大きく世間を騒がせている組織ぐるみの『ハラスメント』は、閉鎖的な古い体質が伝統的に引き継がれ、「そのくらいは普通」の基準が今の世の中の基準とかけ離れていることに気付かなかったことが原因のひとつと考えます。講義の中で判定基準をチェックし、「え、これもアウトなの?!」とご自分の基準とのギャップを感じた方もいらしたので、良い機会となったと思います。

また、実際に起きたハラスメント判例を『シロ』か、『クロ』か、グループ対抗ゲームで楽しく学びました。これは大いに盛り上がりました。

講演のあとは「職場のハラスメント」をテーマにグループディスカッションを実施しました。1グループ5名で、メンバーの自施設や見聞きしたことがある「これってハラスメントじゃない?!」事例を共有し、メンバー間で意見交換をしました。なかなか施設の労働環境について話し合う機会はない為、個々の施設規模や状況もまちまちではあるものの、他施設ではどうしているのか、どのグ

ループも活発な討議が行われていました。ベテランの方から「昔は女性技師が少なかったから、今の基準では考えられないくらいハラスメントが横行していたよね。」とのお話や、「職員教育とパワハラの境界線」といった話題など、日常業務の中にハラスメントは多岐にわたって身近にあることを改めて認識できました。

働く環境改善の根底は、職場風土の改善と相互理解、相互扶助に尽きると思います。皆さんの周りにハラスメントは本当にありませんか？まずは知ることから始まります。正しい知識を周りとは共有したら、ほんの少し何かが変わるかもしれませんよ。

これからもワークライフバランス検討委員会では、さまざまな切り口で「私も、あなたも働きやすい」の実現に向けて情報提供していきます。

皆様のニーズに合ったものを提案していきたいと考えていますのでご意見、ご要望がございましたら、是非ご連絡下さい。お待ちしております！

ワークライフバランス検討委員会  
委員長 正野 奈央子  
joseibu@shizuhogi.jp

# 平成30年度第2回業務拡大に伴う統一講習会 報告

平成30年7月21・22日  
静岡県立総合病院

平成30年度第2回業務拡大に伴う統一講習会を平成30年7月21日、22日の2日間にわたり、静岡県立総合病院にて開催しました。

診療放射線技師法が2014年6月18日に一部改正が行われました。具体的にはCT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の針の抜針と止血、下部消化管検査の実施（ネラトチューブ挿入を含めて）、画像誘導放射線治療時、腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入と診療放射線技師の業務内容が拡大されました。以上の業務を行うための絶対条件として、医療の安全を担保することが求められています。そのため日本診療放射線技師会が主催し、各県で業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とした講習会を2日間にわたり実施しました。受講生は36名でした。

講義はDVDを放映する形式で行いました。1日目は、下部消化管検査を「患者の心理と接遇」、「肛門及び直腸を含む下部消化管に関する解剖」、「バリウム、水溶性造影剤の薬理と造影剤および空気の注入法」、「感染管理及び医療安全対策」の4コマ。法改正は「診療放射線技師法に関する法的知識及びその責任範囲、医療倫理」の1コマ。IGRTは「放射線治療における接遇、及び感染管理・医療安全対策」、「骨盤内臓器に関する解剖」、「骨盤内臓器がんに対するIGRT」の3コマを各講義50分行き、1日目は終了となりました。

2日目の午前中は静脈抜針を「薬剤に関する知識」、「合併症への対応」、「静脈注射と感染管理」の3コマを各講義50分行いました。

午後からシミュレーターを用いた静脈抜針、下部消化管、IGRT、BLSの実習に入りました。4名の実習指導者のもと、4つの班に分かれ各実習を行いました。

静脈抜針の実習では抜針する役、患者の役、チェックする役を各人が担いました。実習中はそ

の都度、講師からのチェックが入りその場で指導を受け、患者役からは難解な質問を受けるなど、シミュレーション通りに終えないので受講生にとっては刺激がある実習になりました。

下部消化管検査の実習では10分程度の実習手順DVDを見てから、講師からのデモンストレーションが行われました。その後、順次手順に沿って各人が実習を行いました。IGRTも同様の手順で実習が行われました。次にBLSの実習を行いました。BLSはほとんどの会員が既に講習を受けているので、スムーズに実習が進みました。最後に講師から総評をいただき実習を終了としました。その後、確認試験を行い2日間の講習会は終了となりました。

業務拡大に伴う行為を診療放射線技師が実施するか否かはそれぞれの施設の考え方によります。いつ何時、実施するように依頼されても良いように準備しておくことがこの講習会に参加する意義だと思います。この講習会をベースに、更に各施設において教育、研修を行い安全、安心な医療を提供するようにお願いしたいと思います。

次回、第3回は10月13日、14日に沼津市立病院で、第4回は12月1日、2日にすずかけセントラル病院で予定しております。皆様のご参加、お待ちしております。



生涯教育委員 曾我 隆正

# 第39回 静岡ふれあい広場 参加報告

## (支えあい みんなでつながる 地域の福祉)

平成30年9月9日(日)  
静岡市葵区 青葉シンボルロード

毎年恒例である静岡市社会福祉協議会が主催する「第39回静岡ふれあい広場」に静岡県放射線技師会も参加いたしました。

ふれあい広場は、毎年60近い福祉団体・ボランティアグループ等が協力する社会福祉啓発イベントです。

静岡市社会福祉協議会も、毎年成果を上げている本会のブースに対する期待も高く、昨年と同じく人通りの多い両替町通りに面した場所を確保して頂きました。

本会は、日本放射線技師会の定める「レントゲン週間」の一環として放射線の専門家である診療放射線技師が医療における放射線の管理者として、正しい知識を皆様にお伝えすると共に、医療現場における私達の業務内容を広く知って頂くため、「ふれあい広場」に参加して今年で20回目となりました。

活動内容として、昨年までの腹部超音波無料体験を、ぶどうや卵に実際に自分でエコーを当てて頂き画像を答えるクイズ形式に変更してお子様はもちろん大人も楽しんでいる様子が伺えました。さらに例年行っている超音波骨密度検査無料体験、乳がん検診自己触診のすすめ、医療被ばく相談を通して、イベントでは放射線を使用することはできませんが、来場された県民の皆様とふれあう事により、検診や検査に興味をもって頂き、放射線を診療放射線技師が適切な管理と使用によって、県民の皆様の健康に貢献していることを少しでも理解して頂けたと思います。

当日午前中は曇りの予報、準備開始時と同時にポツリポツリ雨模様、不安もよそに、無事準備が終了したかと思いきや急な大雨に襲われ、ひとまず雨に濡れない場所に装置、備品を移動するハプニングに見舞われました。しかし通り雨だったようで、ふれあい広場開始時には何とか雨も上がり仕切り直し再スタート。

ところが急な大雨のせい、全体の人通りが少なく技師会ブース内に訪れる来場者も少なくしばらくは様子見の状態、しかし1時間経過したあたりから全体の来場者もどんどん増えてきて技師会ブース内も徐々ににぎやかになってきました。



乳がん検診の関心も高まり多くの方が訪れました。



骨密度測定は大人気

骨密度は前半の不調にも関わらず、最終的には例年と変わらない人数が訪れました。



今年からクイズ形式になりました



実際にプローブを持ってエコーを当てる体験をしてもらいました。皆さん最初は恐々触っていましたが、慣れてくると対象物を色々な角度から当てて楽しそうにクイズに答えていました。

医療被ばく相談コーナーでは、昨年まで見られた原子力発電所の被ばくの心配の相談はなく、多くが本来の医療被ばくに関する相談であったのが印象的でした。逆に被災から約7年たち、大きな原子力災害をもたらした東日本大震災も少し県民の皆様の記憶から離れてきていることを感じ、考えさせられました。

活動して頂いた各部会・委員会、中部地区会の会員の皆様ありがとうございました。来年もよろしくお願い致します。

ブースを訪れた延べ人数 415名

-内訳-

・超音波検査無料体験	100名
・骨密度検査無料体験	203名
・乳がんの検診 自己触診のすすめ	91名
・医療被ばく相談	21名

#### 技師会会員30名 (敬称略)

##### 中部地区会

北川敬康	溝口賢哉	本田 亘
中川英紀	佐藤正和	

##### 超音波部会

中村元哉	早坂みさを	山田浩之
玉田宏一	澤口信孝	前島由佳
中山 謙	佐野文香	大嶽友宏

##### 管理士部会

鈴木康太	根岸賢哉	勝浦拓也
瀧井達志	坂元慎介	糟谷信貴
和田一也	中村文俊	千葉和宏

##### 乳腺画像部会

内田千絵	筒井亜季	阿部佳奈
------	------	------

##### 医療安全推進委員会

室本直子	田沢範康
中部副会長	伏見光代
常任理事	愛甲泰久

##### 賛助会員

東芝メディカルシステムズ株式会社  
株式会社日立製作所ヘルスケア  
協力

日本光電南関東株式会社

(広報理事 愛甲泰久)

# 第74回 超音波部会研修会 報告

平成30年10月20日  
静岡県放射線技師会事務所

平成30年10月20日（土）、静岡県放射線技師会事務所にて第74回超音波部会研修会が開催されました。今回は症例報告をテーマとして、日常の検査で経験した貴重な症例が数多く報告され、29名の会員が参加しました。

メーカー講演ではGEヘルスケア・ジャパン株式会社様より最新機種E-10の最新技術やアプリケーションについて講演をいただきました。

症例報告では8例の報告がありました。1症例目は「腹痛を契機に確認されたSMA症候群」と題し、藤枝市立総合病院の山田浩之会員より報告をいただきました。SMA症候群を疑うにあたり大動脈とSMAの位置関係などわかりやすく提示していただきました。2症例目は「若年性高血圧症の一例」と題し富士市立中央病院の澤口信孝会員より報告をいただきました。超音波で腎動脈狭窄を疑い高血圧を引き起こしていた症例でアンギオ動画やレノグラムなど、様々な画像を交えて報告をいただきました。休憩をはさみ、富士フィルムメディカル様より最近話題の様々なベンダーとPACSをDICOM通信させるVNA (Vendor-Neutral-Archive)についての講演をいただきました。近年、医療における画像データの増大により大容量のデータ移行が問題となっており、参加者は興味津々に聞いていました。3症例目は「筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の一例」と題し静岡済生会総合病院の大嶽友宏会員より報告されました。ALSはとても稀な疾患ですが、筋fasciculationや頸部神経根の径、横隔膜の径などの描出が重要であり、それらの画像がわかりやすく提示され会場の興味をひいていました。4症例目は「偶然発見された腸間膜血腫の一例」と題し、市立島田市民病院の野末恭弘会員より報告されました。無徴候であったため腹部のスクリーニング検査でたまたま発見された症例でした。5症例目は「頸部腫瘍の1症例」と題し、富士宮市立病院の玉田宏一会員より報告いただきました。内頸動脈と外頸動脈の分岐部にある頸動脈小体腫瘍が増大し巨大な腫瘍とし

て報告されました。

6症例目は「胃小細胞癌の1例」と題し静岡県立総合病院の紅林久美子会員（発表者は中村元哉会員）より報告されました。小細胞癌というと肺癌を想像されると思いますが、それが胃前庭部にあったという症例でした。胃の小細胞癌は稀であり、画像的には胃がんの典型像ではなく悪性リンパ腫や胃粘膜下腫瘍を疑う像を呈していましたが、組織学的にはびまん性に増殖した小細胞癌ということでした。7症例目は「Dupuytren拘縮における超音波像の検討」と題し静岡県立総合病院の中村元哉会員より報告をいただきました。今までは症状や視触診で診断されることが多かったDupuytren拘縮ですが、Mayerding分類でgradeの低い症例においては画像診断において他の症例と鑑別することができるか検討された報告でした。8症例目は「腸重積を合併した虫垂炎の一例」と題し菊川市立総合病院の山本裕介会員より報告されました。超音波検査時には虫垂炎を指摘し、盲腸部分に腸管の重層構造を認め重積を疑った症例でした。

今回は日頃の検査では遭遇しないような稀な症例が数多くありました。そのような症例に対して画像所見や検査時のテクニック等を学ぶことはとても重要です。超音波部会研修会では今後も様々な企画を検討しておりますので、多くの皆様の参加を心よりお待ちしております。



中東遠総合医療センター 落合義隆

# 頸部腫瘍の1症例

富士宮市立病院 玉田 宏一

【症例】 70歳、女性

【主訴】 左耳下部の腫脹

### 【現病歴】

40歳頃より左耳下部の腫脹を自覚。疼痛などの自覚症状なし。徐々に増大傾向にあった。当院外科にて20XX年8月15日に閉鎖孔ヘルニアの手術を行い、その際に耳下部の腫脹について同年8月15日に当院耳鼻科に紹介となった。

### 【既往歴】

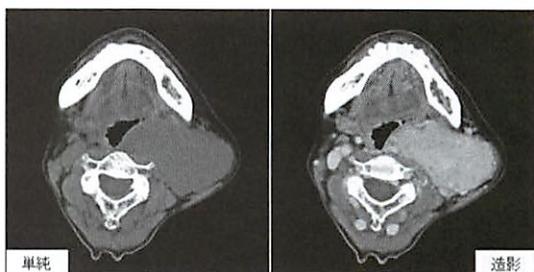
閉鎖孔ヘルニア

### 【超音波所見】

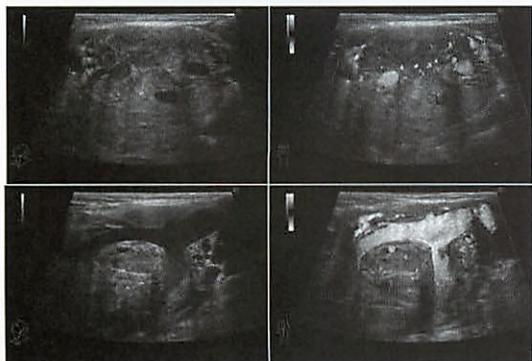
左耳下部に耳下腺と接するように約60×50×40mmのやや分葉状、境界明瞭、内部エコーやや不均質な充実性腫瘍を認めた。腫瘍内に内頸動脈と外頸動脈が押し上げられるように描出され、それらを包み込むように腫瘍が存在し、血管への浸潤や圧迫などは認められなかった。

### 【CT所見】

副咽頭間隙を主座に咽頭および耳下部にも進展している血流豊富な腫瘍を認める。



CT画像



超音波画像

# 腹痛を契機に確認されたSMA症候群

藤枝市立総合病院 超音波科 山田 浩之

腹痛・嘔吐の原因として、急性胃腸炎、急性胆嚢炎・胆石発作、急性虫垂炎、腸閉塞、上腸間膜動脈症候群（以下SMA症候群）、便秘等いろいろな疾患が挙げられる。今回、腹痛を契機に救急にかけ、超音波検査にてSMA症候群を指摘できた症例を経験したので報告する。

**【症例】** 85歳 女性

**【主訴】** 腹痛 嘔吐

**【既往歴】** 狭心症 高脂血症 腰椎圧迫骨折

**【現病歴】** 2018年X月Y日夕飯後より徐々に腹痛が生じて3回嘔吐。3回目が茶色っぽく洗面器半分程の量であった。痛みの訴えが強く救急外来を受診した。

**【身体所見】** 腹壁平坦軟、瘦せ型、グル音正常、全体的に圧痛（+）、反跳痛（-）、Murphy徴候（-）、CVA叩打痛（+/+）。

**【超音波所見】** 胃が著明に拡張し、十二指腸まで拡張を認める。Ao-SMAを越える辺りより腸管の拡張は認めず、SMA症候群を疑った。胆嚢に腫



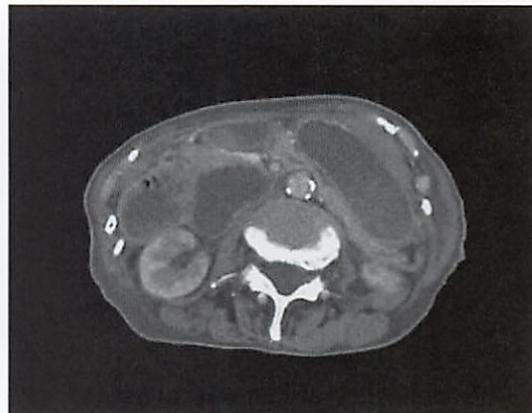
腹部短軸 十二指腸水平脚

大や壁肥厚（-）、総胆管・肝内胆管の拡張（-）、右腎盂軽度拡張、左腎水腎症（-）、腸管に壁肥厚（-）、腹水（-）。小腸、大腸の拡張は見られず。

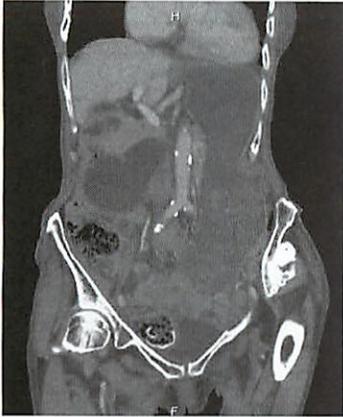
**【CT所見】** 胃から十二指腸水平脚にかけ腸管腔は拡張し液体貯留物がみられる。狭窄部の壁はやや肥厚して見えるが、壁全体が一様な肥厚を示す浮腫様である。SMA症候群が疑われる。



腹部長軸 著明に拡張した胃



CT Axial 造影早期



CT coronal 造影早期

**【考察】** SMA症候群は十二指腸水平脚がSMAとAoとの間を通過する際、SMAに圧迫され通過障害を起こした状態である。原因として、SMAのAoからの分岐角度が鋭角になっていることで、正常は約45度（38～60）。SMA症候群では6～25度となる。SMAとAoの間隙幅は正常では10～20mmであるが、SMA症候群では、2～8mmに縮小している。これらの誘因としては、急激な体重減少によるSMA周囲の脂肪組織の減少などがある。

分岐角度が鋭角になるもう一つの原因として、解剖学的な構造変化があり、Treizt靭帯の高位付着、体幹ギプスによる脊椎過進展状態、脊柱側弯症の手術後である。

今回の症例でも身長140cm、体重29kgと痩せ型で、Ao-SMAの角度は10度、間隙幅は8mmであった。

**【結語】** 今回、腹痛・嘔吐の原因がSMA症候群であった一例を報告した。著名に拡張した胃から十二指腸とAo-SMAを越えた後の虚脱した腸管、Ao-SMA分岐角度、間隙幅を測定することで、比較的容易にSMA症候群を超音波検査にて指摘することが可能である。

# 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の一例

静岡済生会総合病院 放射線技術科 大嶽 友宏・奥川 令・増田 和道・鬼頭 叔子

## 1. はじめに

昨今、超音波診断装置の進歩に伴い末梢神経・筋疾患への超音波検査の介入が増加している。

運動ニューロン疾患の一つである筋萎縮性側索硬化症 (以下ALS) においても超音波検査の有用性が報告されている。

今回我々はALS患者における超音波検査の一例を経験したので報告する。

## 2. ALSとは

ALS (Amyotrophic lateral sclerosis) は、重篤な筋萎縮と筋力低下をきたす神経変性疾患であり、運動ニューロン病の一種である。根治療法は現在確立されておらず、特定疾患に認定された指定難病である。

運動系は広範囲に障害されるが、感覚系や自律神経系の障害は通常認めない。きわめて速く進行し、約半数ほどが発症5年以内に呼吸筋の麻痺を起し、自発呼吸ができず死に至る。

診断基準は複数存在するが、現状最も感度が高いとされているのはAwaji基準である。

## 3. Awaji基準

Awaji基準 (表1) は運動神経支配領域を脳幹・頸髄・胸髄・腰髄の4領域に分け、運動ニューロン障害の有無を評価する診断基準である。

Awaji基準において、新たに線維束性収縮 (fasciculation) が評価項目に追加された事がALSへの超音波検査介入の一助となった。

現在、ALS診断における超音波検査は、Awaji基準における筋電図検査所見の扱いを参考に、下位運動ニューロン障害の検出等に利用されている。

## 4. 症例

【主訴】四肢の筋萎縮・筋力低下

【現病歴】2016年頃から徐々に左手が不自由になってきたとの事で他院通院中であった患者。他院にて頸髄症と診断。手術施行するも改善なし。

表1. Awaji基準における診断グレード

診断グレード	
Definite	○脳幹と脊髄2領域以上における上位・下位運動ニューロン障害の臨床徴候あるいは電気生理学的異常 ○または、脊髄3領域における上位・下位運動ニューロン障害の臨床徴候あるいは電気生理学的異常
Probable	○2領域における上位・下位運動ニューロン障害の臨床徴候あるいは電気生理学的異常、かつ下位運動ニューロン徴候より頭側の領域に上位運動ニューロン徴候
Possible	○1領域における上位・下位運動ニューロン障害の臨床徴候あるいは電気生理学的異常 ○または、2領域以上の上位運動ニューロン徴候のみ ○または、1領域の上位運動ニューロン徴候とそれより頭側の下位運動ニューロン徴候

両側四肢において筋萎縮・筋力低下が進行してきた為、当院受診となった。

【既往歴】 他院にて頸髄症手術歴あり

【内服薬】 なし

【生活歴】 喫煙・飲酒なし。ADL要介助。

【アレルギー】 なし

【初診時身体所見】

体温・脈拍・血圧において特記すべき異常なし。

上肢は左側にて軽度挙上可。右側は指先以外ほとんど動かせず。下肢は両側にて膝立保持可能。わずかながら挙上運動を認めた。

【DTR】 PTRにおいて亢進を認めた。

## 5. 針筋電図・神経伝導検査

針筋電図検査では、上腕二頭筋・前脛骨筋にて positive sharp wave 及び polyphasic MUP を認め、急性+慢性期の脱神経所見を認めた。第一背側骨間筋・大腿四頭筋にて polyphasic MUP を認め、慢性期の脱神経所見を認めた。

また神経伝導検査にて、各末梢神経で sensory が保たれていたが、motor の振幅低下を認めた。

## 6. 超音波所見

今回の症例では、舌（脳幹）・上腕二頭筋（頸髄）・第一背側骨間筋（頸髄）・腹直筋（胸髄）・大腿直筋（腰髄）・前脛骨筋（腰髄）の4領域全てに筋fasciculationが描出された。上位運動ニューロン障害を考慮し、Awaji基準にて診断基準Possibleの症例であった。

また、頸部神経根の長軸径はそれぞれC5 (2.5mm 図1)・C6 (2.9mm 図2)・C7 (3.8mm 図3) と正常範囲内であり、頸部神経根腫大を呈するとされている、多巣性運動ニューロパチー(MMN)は否定的であった。

横隔膜 (zone of apposition) 径は吸気にて2.1mm、呼気にて1.7mm、呼吸変化率は24%であり、明らかな異常所見は示さなかった。

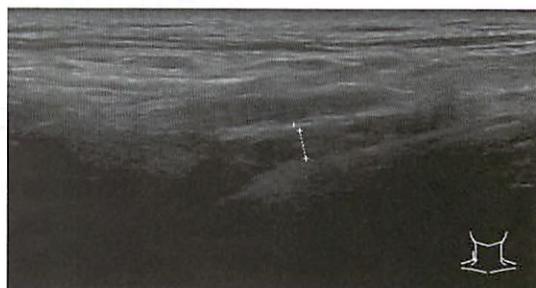


図1. C5 神経根

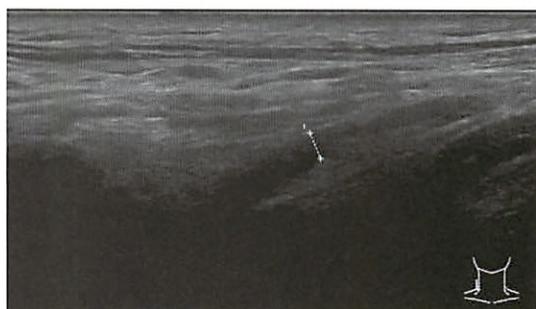


図2. C6 神経根

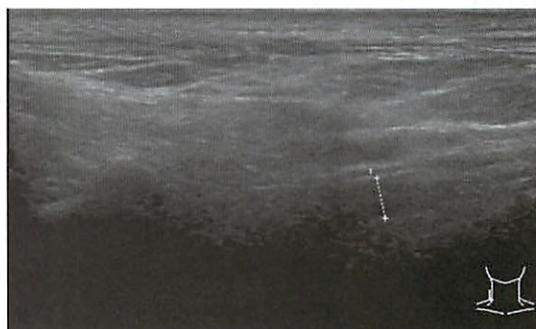


図3. C7 神経根

## 7. まとめ

今回我々は、ALS患者の一例を経験した。

現在、ALS診断における超音波検査は、Awaji基準における筋電図検査所見の扱いを参考に、下位運動ニューロン障害の検出等に利用されている。通常の臨床所見・筋電図検査所見などに、超音波検査を追加する事で、より早期に、より高感度にALSを診断する必要性が認識されている。

ALSにおける超音波検査の介入が、新規治療の有効性を高める一助になれば幸いである。

# Dupuytren拘縮における超音波像の検討

静岡県立総合病院 放射線技術室 中村元哉・早坂みさを・紅林久美子・大野遥香

## 【はじめに】

Dupuytren拘縮は手掌腱膜が肥厚・収縮し、皮下の硬結、手指の屈曲拘縮、伸展障害をきたす疾患で、診断は主に視診・触診、画像診断ではMRIが選択される。近年、超音波機器の高周波化に伴う表在領域の診断能の著しい向上により、画像診断としてMRIよりも超音波検査が選択されることが多くなっている。今回我々は当院でDupuytren拘縮が疑われ超音波検査が行われた5例について検討を行った。

## 【結果】

2012年1月～2018年7月の間でDupuytren拘縮が疑われ超音波検査が行われたのは5例であった。そのうち2例がDupuytren拘縮と診断され、2例は腱鞘炎、1例は腱鞘線維腫であった。我々が経験したDupuytren拘縮は手掌腱膜に相当する部位に硬結 (nodule) を示唆する紡錘状の低エコー腫瘤像を認めた (図1)。索状変化 (cord) は描出されなかった。今回、超音波検査にてDupuytren拘縮と診断された2例はいずれもMeyerdingの分類でGrade 0であり、手術などの処置は行われず経過観察となった。

## 【考察】

Dupuytren拘縮を診断するうえで最も重要なのは症状、視診、触診である。高度な拘縮や複数のnoduleがあるgradeの高い症例では画像検査を行わなくても診断することは比較的容易であるとされている。しかし、gradeの低い症例については画像診断を用いて他の疾患と鑑別が必要であり、超音波検査は有用であると思われた。また、近年

では手術をする際は術後に神経障害を生じないように術前にcordと血管の関係を把握したり、コラゲナーゼ注射療法の際に超音波ガイド下で注入するなど診断から治療まで利用が期待されている。

## 【結語】

Dupuytren拘縮において超音波検査は診断および治療に有用であると思われた。

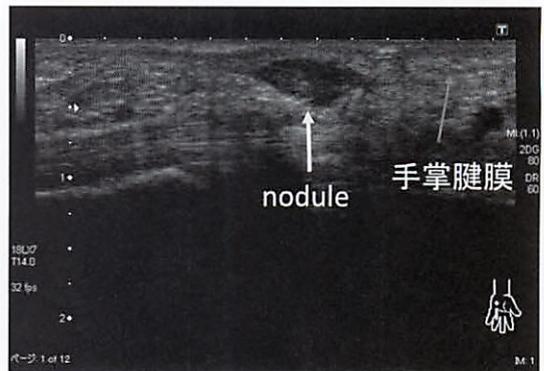


図1 超音波像

# 胃小細胞癌の1例

静岡県立総合病院 放射線技術室 紅林 久美子 中村 元哉 早坂 みさを 大野 遥香

**【はじめに】** 胃小細胞癌は胃癌取扱い規約では特殊型のその他の癌として分類され、その頻度は胃癌全体の0.06～0.2%とされている。また通常の胃腺癌と比較して、脈管浸襲が高度で早期に血行性転移をきたし、予後不良の癌である。今回、稀な胃小細胞癌の1例を経験したので文献的考察を加えて報告する。

**【症例】** 69歳、男性

**【主訴】** 胃の不快感と食欲不振

**【既往歴】** 虫垂炎

**【現病歴】** かかりつけ医の上部消化管内視鏡で胃に潰瘍性病変を指摘され、当院に紹介となった。

**【超音波検査所見】** 胃前庭部後壁に腫瘤を認めた。壁厚19mm、範囲50mm。エコー輝度は極めて低く、層構造消失。周囲脂肪織との境界は明瞭であり、漿膜外浸潤は認めない(図1)。腫瘤内血流は乏しい。胃癌の典型像ではなく、胃粘膜下腫瘍または悪性リンパ腫を疑った。

**【腹部造影CT検査】** 胃前庭部後壁には造影効果を伴った壁肥厚を認め、胃癌を疑った。周囲脂肪織との境界は整であり、漿膜下組織までの浸潤と考えられた。

**【上部消化管内視鏡検査】** 胃前庭部後壁に潰瘍を多数伴った長径35mmの隆起性病変を認め、潰瘍以外の隆起部の表面は正常粘膜と考えられた。肉眼的分類は5型であった。

**【病理診断】** 前庭部小弯に4.7×3cmの頂部に潰瘍を伴う粘膜下腫瘍様の5型腫瘍を認めた。組織学的には小型～中型の核が濃染するN/C比大の細胞がびまん性に増殖した小細胞癌であり、多数の核分裂像を伴っていた。

**【考察】** 文献によると胃小細胞癌は高い周堤を持ち深く大きな潰瘍形成を伴い、粘膜下腫瘍様の形態を呈することが多く、鑑別としてはカルチノイドや悪性リンパ腫が挙げられる。本症例も深い潰瘍形成を伴い、超音波検査でも粘膜下腫瘍または悪性リンパ腫を疑う像であった。また胃小細胞癌は有効な化学療法が確立されておらず、肺小細胞癌に準じた治療が行われることが多く、本症例でも術後に化学療法が行われた。



図1 超音波画像

# 偶然発見された腸間膜血腫の一例

市立島田市民病院 野末 恭弘

## 【はじめに】

腸間膜血腫の原因としては外傷、動脈瘤破裂等による動静脈の破綻によるものが多いが、抗凝固療法の合併症として発症することもあり、比較的稀な症例である。また、エコー検査でこの症例を見ることも稀と思われる。今回、ネフローゼ症候群コントロール目的で入院した患者の、肝機能異常に対するスクリーニング検査時に、この症例を経験したので報告する。

## 【症例】

65歳 男性

ネフローゼ症候群コントロール目的で入院中。既往として2011年に深部静脈血栓症。抗凝固療法により血栓消失。消失後も本人希望にてワーファリン内服継続中。腹部外傷歴なし。

## 【依頼コメント】

ネフローゼ症候群。腎不全、肝障害を認めます。腹部スクリーニングお願いします。

## 【検査時間診】

前日腹痛があり、薬で軽快。検査時圧迫すると少し痛み（違和感）あり

## 【超音波画像】

臍部レベル正中よりやや右側に82×43×89mm



の腫瘤を認めた。境界明瞭で内部エコー不均一、明らかな血流信号なし。

## 【CT画像】

同日CTにて、腸間膜に15cmを超える高濃度を含む腫瘤あり。液面形成を認め、血腫と考えられた。バイタルが安定しており、腹痛もおさまっているため経過観察となる。3週間ほど経過後、再度腹痛あり、腹部緊満。再出血、破裂の疑いにて造影CT施行されるが、血腫に大きさの著変なく、内部濃度は低下。辺縁のみ造影され、血腫内外に漏れ出る造影剤なく、明らかな活動性出血なしと思われた。以後、現在までCTにて経過観察されるが、著変なし。

## 【考察】

腸間膜血腫の画像診断には、腹部XP、US、CT、MRI、血管造影などが用いられる。なかでも、US、CTが腹部腫瘤の発見のみならず、その質的な鑑別、部位診断に有用で、発症時期をある程度推察しうるとされている。血腫以外の鑑別すべき疾患としては、膿瘍、腸間膜充実性腫瘍及び囊腫、腓仮性囊胞などがあげられる。

本症例では、USで腹腔内に腫瘤を確認し、高低の混在エコーを認めた。CTでも、腫瘤内にHDAの部位を認め、新鮮な血腫と思われた。CTでの経過観察中には、大きさは若干の増減を繰り返したが、内部濃度は低下し囊胞様に変化し、造影CTでは、辺縁のみが造影された。またCTAで明らかな動脈瘤は認められず、ワーファリンによる抗凝固療法の合併症による腸間膜血腫と考えられた。

若年性高血圧症の一例

富士市立中央病院 中央放射線科 澤口 信孝

【症例】 19歳、女性

【主訴】 発熱、嘔吐、呼吸苦

【既往歴】 高血圧症

【家族歴】

祖父（父方）：腎不全にて血液透析

父：急性心筋梗塞にて死去（37歳）

【現病歴】

20XX年2月頃より食後の嘔吐あり。近医受診し整腸剤処方にて経過観察。受診時発熱あるも自然軽快。同年4月3日発熱と呼吸苦にて救急搬送されるも当直対応困難にて精査されず。同年4月5日当院内科受診。

【来院時現症】

身長160cm、体重48kg、血圧217/58mmHg、脈拍97bpm、体温38.6℃、SpO<sub>2</sub> 99%、下肢の痺れ

【血液検査所見】

レニン200.7、アルドステロン88.7、カリウム2.4mmol/L

【画像所見】

US：右腎動脈狭窄

造影CT：右腎の造影増強効果軽度低下、右腎動脈本管の軽度口径不整

レノグラム：右腎の集積が緩やかに上昇するカーブを描き、機能低下が示唆される。

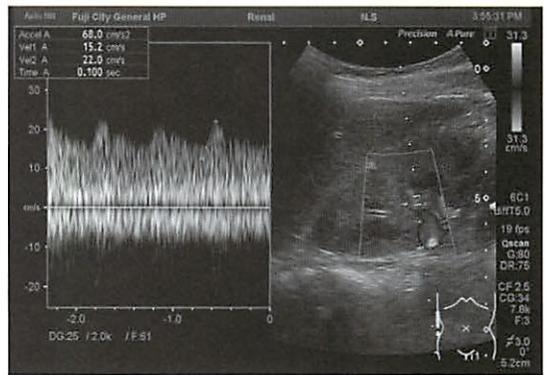
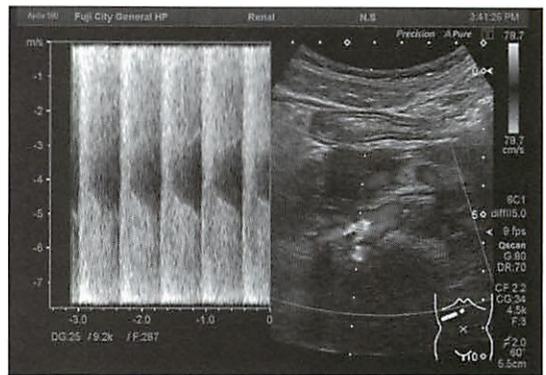
血管造影：右腎動脈狭窄、待機的にPTRA（経皮的腎動脈形成術）施行。

【経過】

治療後の収縮期血圧は120台で推移（降圧薬 off）、レニンも改善し退院。当院循環器内科、腎臓内科にて引き続き経過観察中。

【結語】

高血圧の原因として各種検査等により線維筋性異形成が疑われた。治療（PTRA）により良好な術後経過を辿っている。



# 腸重積を合併した虫垂炎の一例

菊川市立総合病院 山本 裕介

● 患者背景（既往歴・現病歴等）

【既往歴】 慢性の胃痛

【主訴】 心窩部から右下腹部痛あり  
反跳痛あり

【現病歴】

腹痛増悪し、腹膜刺激症状発現し紹介受診。上記症状から虫垂炎疑いで超音波検査施行。

● 検査結果

【超音波検査所見】

疼痛部に腫大した虫垂を認め、虫垂の周囲脂肪織のエコー輝度上昇があり、虫垂炎を疑う所見であった。糞石や周囲に膿瘍形成を疑う所見は認められなかった。盲腸部には腸管の重層構造を認め腸重積が疑われた。

【来院時の血液検査】

WBC 5750（正常値）、CRP 7.6（やや高値）、その他の値特異的な変化なし。

【XP検査】

腸管の拡張、ガス像なし。回腸末端に一部液面形成を認める。

【CT検査】

エコー所見と同様に腫大した虫垂を認め、その周囲脂肪織に炎症を認めた。虫垂周囲に腹水あり。盲腸部は内部に層構造があり、腸重積が疑われる。回腸末端の拡張を認め、肛門側の腸管は虚脱している。

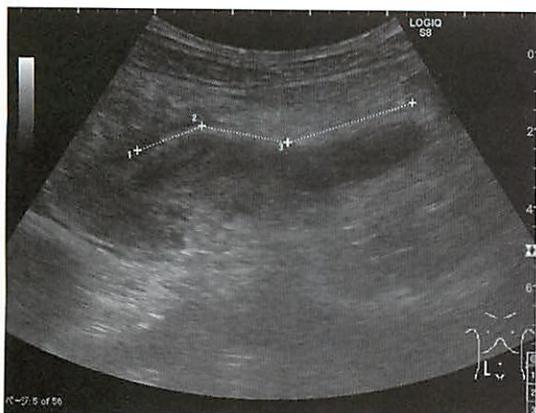
【手術結果】

絶食、抗生剤治療施行後に手術をおこなった。回盲部は盲腸癌と膿瘍が一塊となっていたが、明らかな腸重積状態ではなかった。

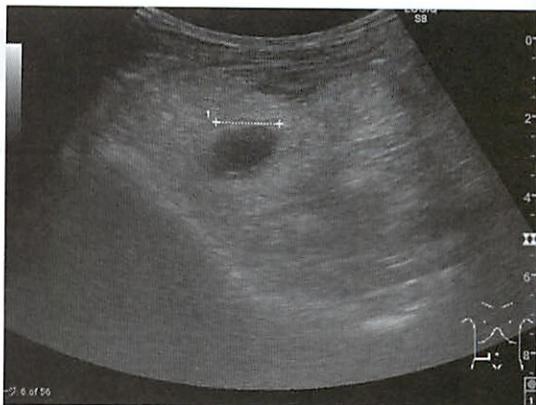
● まとめ

腸重積を合併した虫垂炎の一例を経験した。本症例では腸重積により虫垂内圧上昇を引き起こし、虫垂炎を合併したと考えられたが、手術時は腸重積が自然解消されていた。病態は継時的に変化していくもので検査時にはその時の状態を正確に描出する重要性を再認識できた症例であった。

【超音波検査画像】



虫垂長軸像



虫垂短軸像

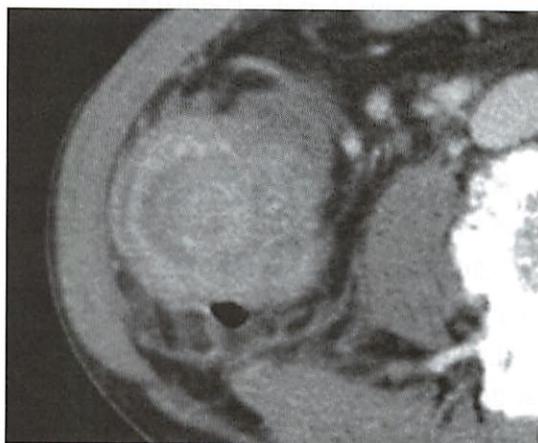


腸重積短軸像



腸重積長軸像

【CT検査画像】



# 突撃!! となりの放射線科

ワークライフバランス検討委員会  
和田 夏季

第2回『突撃!!となりの放射線科』をお届けします。ワークライフバランス（WLB）検討委員会の和田です。

第1回目は東部の2施設をご紹介させていただきました。今回は中部で働く子育て中の技師さんをご紹介させていただきます。『子育て中』と言っても、ご紹介するのは男性の技師さんたちです！共働き世帯の増加にも伴い、社会の育児に対する考え方も大きく変化しました。仕事にも育児にも頑張っている、その生活や考えを教えてくださいました。

## 静岡県立総合病院

### 男性の育休取得について

放射線技術室 村田 昌也

初めてのこどもが生まれたとき、思い切って当時の技師長に相談して2ヶ月育児休暇を取得しました。男性の育児休暇から得られたこと、感じたことだけでなく、制度や世間一般から感じたことを含めて記載します。

私が育休を取得しようと考えたのは、こどもが1歳を迎えようとする2015年12月下旬のことで、妻が2016年4月から新しい職場で夜勤・オンコールを伴う正規職員として働くことになり育休明けで仕事の勘を取り戻すために短期間でもフルタイムで働きたいとの相談を受け、当時の技師長に相談した結果、2016年4月～5月の2ヶ月間育児休暇を頂くことができました。みなさんは「育休」

には2種類あることをご存知でしょうか？育休には、「育児休業」と「育児休暇」があり、同義語ではありません。育児休業では育児休業給付制度があり、休業開始時賃金日額×支給日数の67%（育児休業の開始から180日経過後は50%）が雇用保険から支給されます（公務員の場合は、共済組合から支給）。一方で、育児休暇とは育児のための休暇であり、支給されるお金はありませんので基本的に無給となります。この育児休業を取得する為には、男性の場合、こどもが1歳になる前に育児休業を取得することが条件となり、最大延長として1歳2ヶ月まで認められます。私は、1歳3ヶ月から育休を取得したため前者に該当せず、育児休暇として育休を取得しました。

私は、給付金がもらえないことが分かり、お金について考えるようになりました。簡単に買えていたもの、欲しいものが買えないと感じ、財布と相談するようになりました。給料を得ている場合は、スターバックスなどのカフェに入り好きなものを買っていましたが、出かける時は水筒を持っていくようになり、外食する場合にもできる限り安いものをと日々節約することを考えるようになりました。

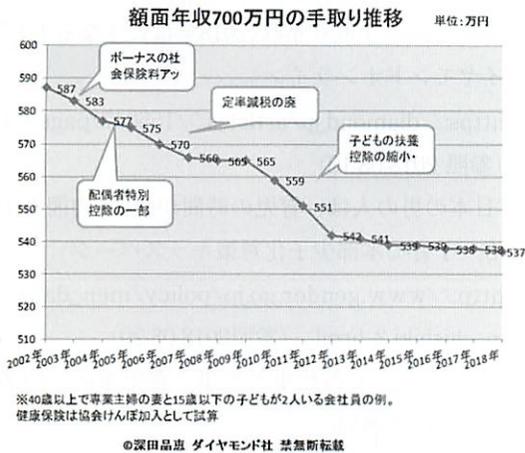
育休中は働いている妻から生活費をもらいました。初めて貰えた時に世の中の専業主婦の気持ちがわかり、妻に「働いてくれてありがとう」、「お疲れさま」と感謝するとともにお金を貰えるということのありがたみがわかりました。

育児休暇の場合は、目先の給与だけでなく賞与も休暇分減額されます。世帯全体の所得とのバラ

ンスも考慮しておく必要があると思います。

図1は、2002年からの2017年までの年収における手取りをまとめたものです。この15年間で額面上、年収700万円の人は約50万円、年収500万円の人は30万円も手取りが減っていることがわかります。これは、所得税、住民税、厚生年金保険料、健康保険料のすべてにおいて上昇していることが要因です。年間で30万円前後手取りが減るということは、月に2万円前後減ることになります。そして、消費税は5%から8%へと変化し、来年の10月には10%となるとされています。所得の減少という現状を踏まえ、育休取得を考えている男性がいる職場の管理者は、可能であれば育休休業内での取得を考慮して頂けたらと思います。

図1 額面年収700万円の手取り推移



出典：ダイヤモンドオンライン「老後のお金クライシス」  
2018年1月10日公開「あなたの手取り年収、2018年はいくらか？」  
執筆・グラフ作成：ファイナンシャルプランナー深田晶恵

もちろん男性の育休はまだ理解されにくい職場環境もあるかと思いますが。そこで事業者にもメリットのある制度が平成28年に新設されました。出生時両立支援助成金（イクメン助成金）といい、男性の育児休業に関する規程を作成し、5日以上

の育児休業を取得させた場合に業者に最大60万円支給される助成金制度です。自施設で男性の育休取得の前例がない場合は、制度を活用できる可能性があるのではないかと考えます。

経済面を中心にした私の育休に対する考えを書きましたが、前提として育児休業もしくは、育児休暇を取得できる環境であるか上司とよく相談する必要があります。私の場合は、産休・育休者が少ない時期であり当時の技師長に助けられただけでなく、まわりの上司、同僚に恵まれたため、2ヶ月間の育児休暇を取得できたことは、幸運だったと思います。

また、実際に育休を取得すると、それまで見えなかった問題点に気づきます。

1つ目にトイレ問題です。男性の育児参加が叫ばれている中でも周囲の環境は簡単には変わりません。百貨店や子育て支援センターなどベビーシート（図2）やベビーチェア（図3）が整っている場所も存在していますが、やはり少数であることを実感しました。多目的トイレがあれば申し分ないのですが、男女別トイレしかない場合には、女性用トイレのみにベビーシートがあり、男性用トイレには、ベビーチェアのみもしくは設置されていない施設が大多数です。そのため、男性一人で行う場合、おむつを替える場所を探す必要があります。自施設ではいかがでしょうか？男性トイレにベビーシートはありますか？多目的トイレの案内はできますか？男性が育休中に病院に受診することも踏まえて再度確認して頂きたいと思います。

図2 ベビーシート

図3 ベビーチェア



2つ目に、男性育児者が少ないためパパ友が2ヶ月間で作れなかったことです。

育休中に育児に関するイベントが支援センター内であり、参加無料ということで覗いてみたところ女性ばかりで、さすがに参加できませんでした。また、平日の午前中男性はいませんでした。大半がママ友の中に混じって子どもに本を読んだり、積み木で遊んだりと疎外感を感じることもありました。幸いなことにセンターの職員さんに気にかけてもらえ、一緒に遊んでもらい本当に助かりました。職員さんに話を伺うと、男性の育休は珍しいとのこととよく訪れていた時に男性育休者はいなかったそうです。この経験から古き日本的考え方である『男性が外で働き、女性が家を守る』という考え方を持つ人が未だに多いのではないかと改めて感じました。

父親の家事・育児時間に関する資料によると、男性の育児時間は1日あたり39分となっていますが、あなたはどのように感じますか？男性は育児をしていますと言えるでしょうか？核家族化が進み共働き世帯が増えた現在のライフスタイルでは、女性のみが育児を背負うべきではないと思います。男性の育休取得率は、2016年度で3.16%とされていますが、男性は育休取得したくないのでしょうか？内閣府資料によると30%以上の男性が育児休業を取得したいという意思があるそうです。積水ハウス（株）は2018年7月26日から男性社員が必ず1ヶ月以上の育休を取得する制度を9月に導入すると発表しました。医療職は、夜勤や呼び出しなど一般職とは異なり柔軟に対応しづらい環境ですが、職場で男性育児休推進の取り組みが広まっていけば良いと考えます。

男性は結婚するまで女性よりも子どもと接する機会が少なく、子どもへの苦手意識のある人が多いのかもしれませんが。実際に育児をしてみると様々なものが見えてきます。

私は育休期間中に子どものつかまり立ちから1歩2歩と歩けた瞬間に立ち会うことができました。

この瞬間を見ることのできた男性は少ないと思います。思い返すと短い期間でしたが、当時は肉体的にも精神的にも本当に大変でした。自分の思い通りに進まない家事、オムツ替えや離乳食の食事介助などの育児、毎日が仕事以上に疲れた思い出があります。また、一日中子どもから目を離すことができず、行動1つ1つに心配する日々でしたが、寝顔を見ている時は、本当に癒されました。

最後に、子どもは見ていないうちに成長していきます。長い人生において一瞬なのかもしれませんが、育児の大変さを経験できてとても良かったと思います。

趣旨を理解し文献を使用させていただきました。深田晶恵氏に心から感謝します。

#### 参考文献

武石恵美子. "男性はなぜ育児休業を取得しないのか" 日本労働研究雑誌 46(4), 54-57, 2004-04

"「あなたの手取り年収、2018年はこうなる！」".  
ダイヤモンドオンライン

<https://diamond.jp/articles/-/155047?page=4>  
(参照 2018-08-10)

"日本の男の人は、育児の時間が短い".内閣府子ども・子育て本部少子化対策キッズページ

[http://www.gender.go.jp/policy/men\\_danjo/kiso\\_chishiki2.html](http://www.gender.go.jp/policy/men_danjo/kiso_chishiki2.html) (参照2018-08-20)

"男性にとっての仕事と家事・育児参画". 内閣府男女共同参画局.

[http://www.8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/kids/2\\_2.html](http://www.8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/kids/2_2.html) (参照2018-08-15)

Father's Roles in the Care and Development of Their Children: The Role of Pediatricians  
Yogman M et al. PEDIATRICS (2016 Jul;138 (1). pii:e20161128. doi: 10.1542/peds.2016-1128. Epub 2016 Jun 13.)



# 祝 第34回日本放射線技師学術大会演題優秀賞受賞

日付：平成30年9月21日～23日  
場所：山口県下関市(海峡メッセ下関)

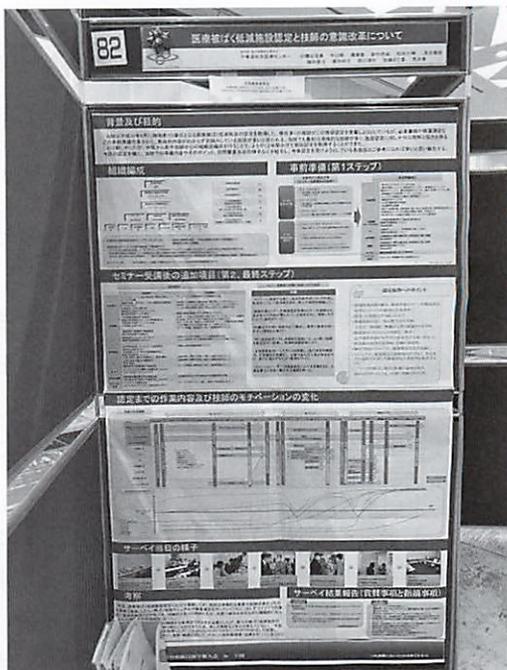
中東遠総合医療センターの糟谷信貴会員が、平成30年9月21日から23日に、山口県下関市(海峡メッセ下関)で開催されました、第34回日本放射線技師学術大会、一般演題の示説発表において、演題優秀賞を受賞されました。

受賞されました演題は、「医療被ばく低減施設認定と技師の意識改革について」です。

糟谷会員はこの発表で、医療被ばく施設の認定を取得するまでの取り組みについて、サーベイ当日の様子や、それに至るまでの過程を詳細に報告されております。

また、医療被ばくについての職員の意識改革も合わせて紹介し、施設認定を取得する意義についての考察も交え、報告がなされたことが高く評価されました。

糟谷様、あらためて栄えある受賞、誠にありがとうございます。心からお祝いを申し上げますとともに、今後ますますのご活躍を心よりお祈りいたします。



# メッセージボード

平成30年10月現在

## 東部地区

### ◇経過報告

H30.08.21(火) 19:00～

第2回幹事会開催

「JCHO三島総合病院」出席者14名

- ①静岡県放射線技師会報告
- ②東部地区ふれあい広場について
- ③第1回放射線セミナー、第1回胃がん検診  
エックス線撮影従事者講習会について
- ④第2回放射線セミナー、第2回胃がん検診  
エックス線撮影従事者講習会について

H30.09.05(水)

東部地区だよりVol.2 発行

### ◎行事予定

H30.12.上旬

東部地区だよりVol.3 発行

H31.01.26(土)

場所:「プラサヴェルデ」

第2回放射線セミナー(会員発表)

第2回胃がん検診エックス線撮影

従事者講習会

「放射線技師が知っておきたい

内視鏡の基礎知識」

豆保健医療センター 病院長

小野 憲 先生

東部地区会新年会

H31.02.05(火) 19:00～

第4回幹事会

「JCHO三島総合病院」

H31.02.中旬

東部地区だよりVol.4 発行

H31.03.02(土)

「会場未定」

平成30年度東部地区会通常総会

## 中部地区

### ◎経過報告

H30年7月

地区会ニュース発行

H30年8月31日

第2回 中部地区幹事会(藤枝市立総合病院)

1. 地区会長挨拶
2. 県技師会理事会報告
3. 協議事項
  - ・平成30年度第1回放射線セミナー・第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会について
  - ・静岡ふれあい広場について
  - ・レクリエーションについて
  - ・地区会ニュース秋号発行について
  - ・平成30年度第2回放射線セミナー・第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会について
  - ・退会者承認について
4. その他
  - ・会員数把握について

H30年9月9日

第39回 静岡ふれあい広場 参加  
管理士部会・超音波部会・乳腺画像部会  
医療安全推進委員会・県技師会役員・地区会幹事  
全30名参加



H30年10月6日

第1回放射線セミナー・第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

静岡赤十字病院 参加者22名

『放射線セミナー』

「撮影が困難な受診者に対する対応」

藤枝市立総合病院 蒔田 鎮靖 会員



『胃がん検診エックス線撮影従事者講習会』

「胃噴門部癌の話」

藤枝市立総合病院 副院長 丸山 保彦 先生



### ◎行事予定

H30年11月10日

レクリエーション(ボウリング大会・懇親会)

H30年11月

地区会ニュース秋号 発行

H31年2月

第3回 中部地区幹事会(藤枝市立総合病院)

地区会ニュース新春号 発行

H31年3月2日

H30年度中部地区会総会

第2回放射線セミナー

第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会  
(もくせい会館)

## 西部地区

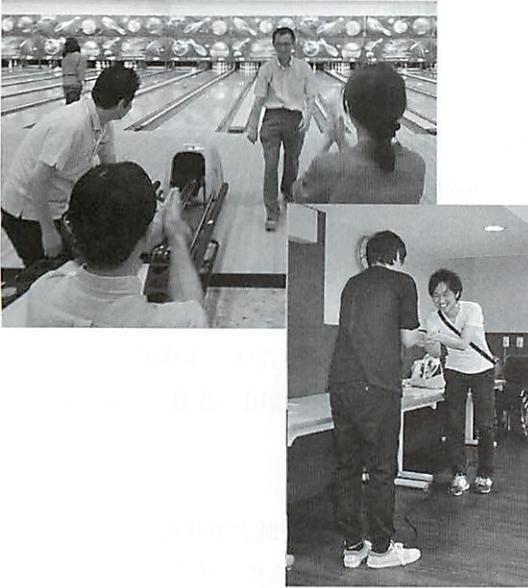
### ◎経過報告

H30.6.29

レクリエーション (ボウリング大会)

会 場：浜松市 毎日ボウル

参加者：89名



H30.6.29

第2回幹事会

会 場：浜松市 毎日ボウル

参加者：8名

内 容：レクリエーション(鮎のつかみ取り  
&バーベキュー)について  
メディメッセージについて

H30.8

西部TIPS 発行

H30.9

第3回幹事会(メール会議)

内 容：第1回勉強会について  
メディメッセージについて  
社会活動について

### ◎行事予定

H30.10.20

第1回地区会勉強会

会 場：浜松市商工会議所

内 容：

胃がん検診X線撮影従事者講習会

講演 『胃撮影のいろは』

聖隷健康診断センター

平野昌弘 会員

胃がん検診X線撮影従事者講習会兼

地区会勉強会

講演 『救急医療におけるCTの活用

～胃、消化管、肝、胆、脾を中心  
に～』

聖隷三方原病院 救急科

大原和人 先生

放射線セミナー

講演 『脳梗塞の画像診断

rt-PA治療から脳血管内治療まで』

浜松医科大学附属病院 脳神経外科助教

平松久弥 先生

H30.10.20

第4回幹事会

会 場：浜松商工会議所

内 容：社会活動について

メディメッセージについて

H30.10.28

社会活動(可美公園まつり)

会 場：可美公園総合センター

H30.11

第2回 西部TIPS 発行予定

H30.11.23～24

メディメッセージ 2018

会 場：浜松アクトシティ

# 本会の歩み

(平成30年6月1日～9月30日)

H30/6/2

第79回(公社)日本診療放射線技師会定時総会  
(東京都千代田区追手町 日経ビル)

山本(英) 大須賀 高橋 増田 栗田

H30/6/14

第5回常任理事会(技師会事務所)

山本(英) 廣澤 高橋 伏見 渥美  
三井 渡邊 石原 栗田 常葉 愛甲

協議事項

- ・第7回定時総会・第23回学術大会の反省
- ・3会合同研修会について

H30/6/16

第73回超音波部会研修会(静岡赤十字病院)  
参加:会員39名 非会員1名(検査技師10名)

H30/6/23

第8回フレッシュャーズセミナー(技師会事務所)

H30/6/26

編集委員会 初校(技師会事務所)  
常葉 山本(智) 増田 渡邊 三輪 杉山

H30/6/28

第6回常任理事会(WEB会議)

H30/6/30

第35回放射線技師のためのセミナー

参加:会員40名

H30/7/7

第2回ワークライフバランス検討委員会  
勉強会「みんなのハラスメント検討講座」  
JR静岡駅ビル パルシェ7階 D会議室

H30/7/10

編集委員会 二校(技師会事務所)  
常葉 山本(智) 渡邊 三輪 杉山

H30/7/12

第7回常任理事会(技師会事務所)  
山本(英) 廣澤 高橋 伏見 渥美

三井 渡邊 石原 栗田 常葉 愛甲

協議事項

- ・65才以上会費減額について
- ・経費削減案 ペーパーレス会議について
- ・静岡県環境放射線監視センターの放射線教室参加依頼について
- ・静岡県死因究明等推進協議会への参加の件
- ・企画申請
- ・第30回原子力緊急時災害対策研修会の件
- ・新春公開講演について

H30/7/21、22

平成30年度第2回業務拡大のためのセミナー

H30/7/26

第8回常任理事会(WEB会議)

H30/7/27

ジャーナル発送作業(技師会事務所)  
常葉 山本(智) 増田 渡邊 三輪 杉山  
伏見 石原 三井

H30/8/9

第9回常任理事会(技師会事務所)

山本(英) 廣澤 高橋 伏見 渥美  
三井 渡邊 石原 栗田 常葉 愛甲

協議事項

- ・65才以上会費減額について
- ・豪雨災害義援金協力について
- ・メディメッセージへの支援について

H30/8/25

第2回理事会

協議事項

- ・65才以上会費減額について
- ・メディメッセージへの支援について
- ・東海4県親睦会について
- ・企画申請報告書承認について

H30/9/9

第39回静岡ふれあい広場への参加  
参加:技師会より30名

H30/9/13

第11回常任理事会(技師会事務所)

山本(英) 廣澤 高橋 伏見 渥美  
三井 渡邊 石原 常葉 愛甲

### 協議事項

- ・北海道地震義援金協力について
- ・「浜松やらま胃会」の後援依頼について
- ・静岡超音波研究会会則変更  
解散の場合の残余資産について
- ・第4回理事会日程変更について  
2/23(土)→2/22(金) 18時～
- ・企画申請書報告書承認について
- ・周年事業について

H30/9/27

第12回常任理事会(WEB会議)

## 会 員 動 静 (敬称略)

(平成30年6月1日～9月30日)

### 【入 会】28名

東部：秋津 健太 国際医療福祉大学熱海病院  
塩崎 博人 富士市立中央病院  
阿久津瑞輝 国際医療福祉大学熱海病院  
高清水志保 国際医療福祉大学熱海病院  
三日市憲治 富士市立中央病院  
中部：山田 健登 静岡赤十字病院  
杉村 成矢 藤枝市立総合病院  
横瀬 翔一 県立総合病院  
浅井 歩実 静岡市立静岡病院  
金原 侑亮 焼津市立総合病院  
下越 遼助 清水厚生病院  
小田 幸佑 県立総合病院  
鈴木 奈緒 県立総合病院  
後藤 修治 県立総合病院  
村松 恵太 コミュニティホスピタル甲賀病院  
藤井 真味 自宅  
西部：小貫 琴和 聖隷浜松病院  
鈴木 高広 聖隷浜松病院  
松嶋 真弓 聖隷浜松病院

幸田 俊 浜松医療センター  
佐藤 雷人 聖隷三方原病院  
森下 賢悟 遠州病院  
鈴木 聖佳 中東遠総合医療センター  
平野 稔幸 聖隷浜松病院  
大島 優佑 聖隷浜松病院  
松本 卓弥 聖隷三方原病院  
加藤 剛 聖隷三方原病院  
松島 寿樹 すずかけセントラル病院

### 【再入会】1名

西部：江塚 和可子 聖隷袋井市民病院

### 【転 入】2名

東部：松本 圭司 国際医療福祉大学熱海病院  
←大阪府  
望月 里奈 共立蒲原総合病院  
←神奈川県

### 【転 出】5名

東部：井上亜由佳 千葉 ←富士宮市立病院  
西部：小坂橋実夏 群馬 ←磐田市立総合病院  
塩田 容子 東京 ←浜松医療センター  
野末 直希 愛知 ←すずかけセントラル病院  
渥美 裕 神奈川←聖隷浜松病院

### 【退 会】2名

中部：滝井 剛 清水市立清水病院  
西部：秋山 清純

### 【産 休】0名

### 【勤務移動】3名

中部：野寄ひろみ 自宅←静岡赤十字病院  
西部：窪野 久行  
医療法人三石会中西整形外科医院←遠州病院  
佐々木幹晴 自宅←遠州病院

【名称変更】 1名

中部：池谷 桃子 (旧姓：湯山)

富士市立中央病院

会員総数	888名
東部	277名
中部	266名
西部	343名
県外	2名
(平成30年9月30日現在)	

【電報】 4件

中部：山城 寛 御母堂様弔電

村田 憲昭 弔電

東部：鈴木 和訓 御母堂様弔電

鈴木 博寿 御母堂様弔電

訃報

高橋 恵 一 様

平成30年8月27日 ご逝去  
謹んでご冥福をお祈りいたします。

本会への寄贈図書

(平成30年6月1日～9月31日)

6/4 京都府放射線技師会雑誌 平成29年度

兵庫県診療放射線技師会会誌 6

2018.6.1 vol.78-①

6/6 東京放射線 2018年6月号

Vol.65 NO.762

6/7 福岡県診療放射線技師会会誌 第338号

6/11 山梨放射線 NO.40 2018.4

6/21 広島県診療放射線技師会会誌

NO.49 2018.6

7/3 東京放射線 2018年7,8月合併号

Vol.65 No.763

7/9 放射線やまぐち 2018 Vol.271

7/17 福井県診療放射線技師会会誌 第39号

7/26 かながわ放射線だより 275

Vol.71 No.2 Jul.2018

7/31 埼玉放射線 No.3 2018

8/7 香川県診療放射線技師会誌

第48 2018-3

KART創立70周年記念合併号

8/17 大分放射線 第112号 July 2018

8/30 富山県診療放射線技師会会報

Vol.88 2018

9/3 会報 2018年9月

北海道放射線技師会

9/7 東京放射線 2018年9月号

Vol.65 No.764

9/14 会報 MART 第90号

宮城県放射線技師会

9/26 放射線 2018 NO.123 2018年特大号

9/27 かながわ放射線だより 276

Vol.71 NO.3 Sep.2018

9/28 岐阜県診療放射線技師会雑誌

第90巻 (通号126号)

## 平成30年度 第2回 理事会 議事録

1. 開催日時 平成30年8月25日(土)  
14時～17時
2. 場 所 静岡県放射線技師会事務所  
静岡市葵区本通1丁目3番地5  
フェリス本通り 202号
3. 理 事 16名 監事 2名 顧問 1名
4. 出席者  
山本 英雄、廣澤 賢一、伏見 光代、高橋 真、  
渥美 希義、三井 賢一、渡辺 敏成、  
石原 和浩、栗田 仁一、常葉 勇介、  
愛甲 泰久、高屋敷 英明、北川 敬康、  
春日 孝博、小林 秀行、坪内 秀夫  
深澤 英史(監事)、松本 恭徳(監事)、  
和田 健(顧問)

敬称略

### (1) 山本会長あいさつ

4月に西日本で暴雨災害がありました。日放技として義援金を集めていて、今のところ40万ぐらゐ集まっているようです。みなさんに、お願いした義援金を今回持ってきていただいた施設の方から集めて出したいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

平成30年度第2回理事会を開催したいと思います。

定款34条に則って行います。本日の出席は、常任理事16名、監事2名、顧問、全員出席で成立しています。定款34条1項により、理事会の議長は会長があたるということなので、私が議長をさせていただきます。

定款第36条第4項により、議事録作成人は、総務庶務の三井さんお願いします。それでは資料に則って進めていきます。

### (2) 報告事項

#### I 会長報告

日放技からの報告で、資料より会費納入状況が出ています。7月23日現在、静岡県62% 9月末までが期限ですのなるべく早く納入して頂くよう施設で納入していない方がいたら声かけをお願いします。全国平均が、約62%で静岡はほぼ平均です。多いところでは三重県の76%。できれば9月いっぱい100%を目指したいと思っています。会員数が今静岡県854名となっています。900人までもう少しなのでがんばって入会促進を行ってきたいと思っています。JARTの全体は29555人でもう少しで3万人ということで、今年度で3万人いくのではないかと例年のデータから推測しています。JARTの中で会費が高いのではという意見があり、総会の中でも他の団体はどうなっているかと意見がありました。以前の理事会の中でこの資料が出ましたので、添付します。薬剤師会、看護協会、臨床工学士理学療法士などの会費が出ています。15,000円は高い方になるかもしれませんが、会員数が多いところが会費も安いようです。

第34回山口学術大会のことですが、演題数は無事集まりました。参加登録が最終的に事前登録1400名で終わりました。目標2000人だったのですが、少し足りない状況です。当日に期待したいです。静岡からは35名が参加します。もう少し中、四国や九州から当日参加者が増えて2000人は超えると思われれます。

統一講習会の受講状況が出ています。

5月31日現在、859名の中46.45%です。7月の静岡開催に35名の受講ありましたので400名に達していると思いますが、まだ50%以下です。今後1年半で6,7回あるので、静岡県の会員数は受講してほしいと思っています。

医療被ばくに関する件で、厚労省から動きがあって、資料(医療被ばく安全管理委員会2018)7,8のところで、7. 2018年4月28日厚生労働省は放射線検査の適正管理に関する有識者会議に

てCTでの被ばく線量の記録を義務付ける方針を決定した。

8. 2018年6月6日に被ばく線量の比較的高い検査CTなど、他IVRと核医学といった検査の記録を含めて管理をしなくてはならない、それに伴う健診を受けなくていけないという方針がでています。来年以降それに伴いまして被ばく低減施設を増やしていきたいと思っています。目標は150施設で、その施設数あれば厚労省に動きが出てくるかもしれません。診療報酬に影響する可能性があるということで、各県5施設が目標です。静岡県は、5施設で目標は達していますが、より多くの施設が取得できるいいと思います。愛知県は、10施設が取得済です。次に、施設の大小に関係あるのではないかとということで、理事会の中でたのですが、クリニックでとっている所や200床、300床もあるし、大病院もあります。静岡県では、常葉大学リハビリテーション病院が静岡県で1番最初、全国でも8番です。放射線技師1人の施設で取得しているの、ぜひみなさんの施設でも認定を取ってはどうかと思ひます。

日放技で各施設に依頼して、放射線関連機器故障事故調査をやっています。平成25年から全国に依頼して、静岡県は20施設協力してほしいということです。資料にある20施設ですが半年に1回の報告ですがあまりうまくいってないようで当初は、よかったのですが、毎年30施設しか報告がない状況です。その数のデータでは、信憑性に欠けるといふことで、厚労省などに出すにはデータ数が乏しいということで再度お願いしたいと思っています。理事の中で、資料に載っている施設の方は今一歩施設に帰って、当初担当していた人がシートを持っていると思うので、各自毎年経年で同じシートを使用しているの、それを付け足して半年ごとにデータを出して送るといふかたちで、途中で止まっていると思われるデータをもう1回出したいと思ひますのでご協力をお願いします。

診療報酬に関するアンケートに協力ありがとう

ございます。1000件弱集まりました。静岡県が何件かは、報告ができませんがわかった時に報告します。

次に、放射線技師の給与の動向調査があります。

いろいろとアンケートがありますが数がそろえば大きな力になります。昨年の診療報酬調査のデータは、1200から1300集まり、それを厚労省へ持っていくと話を聞いてくれると、すぐには取り上げられるわけではないですがだんだんと認められていくので協力をお願いします。富山でCCRTが11月に開催します。演題募集が今月中ですので、ぜひ静岡からもより多くの演題をお願いします。来年は、静岡になりますので、ぜひ富山からも出してもらおう為、おたがい出し合うということで協力をお願いします。ポスターもきていますのでもって帰ってください。

JRATのイベント助成金を毎年中部地域7県で10万円もらっていて、一昨年、昨年は、静岡以外の県で申し出がなかったの、静岡県で10万円を使えたので各地区のふれあい広場に使っていたのですが、今回は、愛知、福井から申し出があったので3県で分け合って、33,333円と3分の1になりました。

各地区ご了承ください。

山本会長

次に副会長報告お願いいたします。

## II 副会長報告

東部副会長：廣澤副会長

東部地区は特にございません。

中部副会長：伏見副会長

中部地区は特にございません。

西部副会長：高橋副会長

部会報告を1つ、第17回静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会のご案内です。開催日程 平成30

年12月23日、24日になっています。受付期間は、平成30年9月1日から14日 各施設にもどられて、皆さんに周知をお願いします。各組織理事の方には、各施設へメール配信で出していただきたいのでよろしくをお願いします。

#### 山本会長

それでは常任理事の報告で、まず総務からお願いします。

### Ⅲ 常任理事報告

#### 総務：渥美理事

特にございませぬ。

#### 総務庶務：三井理事

ちから会計事務所から各理事に委任状が来ています。委任状に各理事の印鑑を押して送り返しますのでご協力をお願いします。

山口学術大会の情報交換会で各県の日本酒を持ち寄るといふことで、銘柄はこちらで選んで送ります。

#### 庶務一般：渡邊理事

胃がん検診エックス線撮影従事者講習会委託事業について、8月中に計画書、見積書を提出する予定です。資料2枚目に案として記載していますので目を通して何か訂正があれば教えてください。

会員動静ですが、4月17日から8月15日現在。氏名は資料参照、資料より新入会40名、再入会1名、転入6名について、定款第3章第6条に基づき本理事会での採決をお願いします。

#### 山本会長

採決をとりますが、氏名等いいでしょうか。(2名の所属地区の訂正がありました。)

それでは、新入会40名、再入会1名、転入6名について、承認の採決を行いたいと思います。理事会承認を採決します。

反対 0名 保留 0名 賛成 18名  
(全会一致承認)

#### 庶務会員管理：石原理事

庶務会員管理です。年会費の納入期限が9月30日になっております。引き続き会費納入の呼びかけをお願い致します。

会員数及び、2018年度会費納入状況7月分までで、総会員887名、未納者339名、納入率61.8% 9月に未納者リストを毎年回覧してもらうよう流しています。声掛けをお願いします。

#### 山本会長

3地区の副会長、組織理事から施設に電話して納入するよう声掛けをしてもらいたい。

9月までに納入されると、どのような影響があるかという点、JARTの総会の代議員数がこの時の人数でまきます。他には、JARTからの助成金1人あたり200円ぐらいになります。会費の納入率についてJARTでも検討していて、振込方法もコンビニや銀行振り込みだけでなく、もっと便利な方法がないかという事で理学療法士会では、会員カードが楽天になっていて会費納入時にポイントがつくなど今の時代にあう納入方法をJARTも考えています。

#### 会計：栗田理事

会計からの報告は特にありません

#### 編集：常業理事

静岡ジャーナルvol. 28 No.1 2018 (通巻202号) ・学術大会抄録集7/26に発行完了しました。内訳は、ジャーナル990部、抄録集930部  
ジャーナル次号通巻203号は、10/23～11/30  
来月より原稿の依頼を各理事にしますので、よろしくをお願いします。

## 広報：愛甲理事

第39回ふれあい広場 日時9月9日 場所は昨年と同じ場所です。広島県の義援金、募金箱設置は主催者側からは問題ないということですが、静岡市に確認するという事でした。承認されると思いますが連絡待ちの状態です。参加者が決まりました。合計32名。例年より少し多めの参加です。特に超音波部会の参加が多く助かります。乳腺画像部会のブースが、毎年手薄になりますので、中部地区会、超音波部会に手伝いを依頼しますが今回超音波部会に女性が3名いるのでお願いしたいと思います。雑用係は、私と管理士部会から1名お願いしています。超音波部会の腹部超音波体験は、アトラクション形式に変更と申し入れがありました。詳細はまだ報告ありませんが、部会長の中村さんにお任せしています。備品など必要なものがあれば、購入して領収書を提出して下さいと伝えてあります。使用装置の手配は、完了しました。乳がん検診のすすめで使用する、配布用リフレットは、県より200部頂き、乳腺画像部会より要望のありました認定NPO法人 乳房健康研究会の乳がんQ&Aを200部(10,800円)購入しました。

秋季公開講演会 日時 11月10日(土)

場所 静岡県産業会館 3階 第1会議室

前回理事会でも報告させて頂きましたが、肺・胃・乳腺・大腸がんの4つのがん検診に対して4年に1度のサイクルで開催していましたが、ここ数年は一般参加者が増えない状態が続いています。乳がんで開催の場合はコンスタントに一般参加者が期待できますが、毎年乳がんテーマの開催とはいかないので、私の任期期間に開催方法を模索したいと思います。まず、今年は複数のがんの検診(胃、肺、乳腺)に関して会員から約20分のボリュームで3演題と東海4県で講演を頂いた県立総合病院 金本先生の膵臓がんの話が素晴らしかったので依頼致しました。今年を参考にして、また来年開催方法を考えます。将来的に開催方法

を元に戻すか変更をするかは、次期の広報の担当者に引き継ぎたいと思います。

静岡県、静岡市、静岡新聞、静岡放送に後援申請致します。11月24日(土)開催の原子力緊急時災害対策研修会の後援の申請もしていく方向です。

次回の常任理事会の前に廣澤副会長と話を詰めていきたいと思います。

情報管理委員会からは、昨年から取り掛かっているホームページのリニューアルに関しては、マンモ講習会のメ切が終わってから取り掛かりたいと思います。

今年内に変更出来たらと思います。

## IV 地区選出理事報告

### 東部組織理事：高屋敷理事

東部地区会から報告させていただきます。

お手元の資料にこれまでの事業報告と事業予定が載っています。4月の理事会のときに事業計画をまだ提出してなかったのが今回差し替えています。直近ですが、10/20に東部地区会ふれあい広場を伊豆の国市の菰山福祉・健康センターで開催します。内容については、企画申請書の通りです。11/10に第1回放射線セミナーと、胃がん検診X線撮影従事者講習会を行います。これも企画申請書の通りです。

東部からは以上です。

### 中部組織理事：北川理事

事業報告です。平成30年3月3日に、平成29年度第2回放射線セミナー及び胃がん検診X線撮影従事者講習会、中部地区総会を行いました。

4月に新しい幹事で集まりました。前会長樽松さんにも出席していただき、1年間どのようにやっていか話し合いました。今後の予定です。7月に地区会News夏号発行、8/31第2回幹事会、10/6第1回放射線セミナー及び胃がん検診X線撮影従事者講習会、11/10レクレエーション(ボウリング大会)を予定しています。

西部組織理事：春田

西部地区会の事業報告です。前回の理事会以降の報告をします。6/29に西部地区会ボウリング大会を行いました。参加者は89名でした。その時に第2回幹事会を14名で行いました。7/29に鮎のつかみ取り&バーベキューを計画しました。申込者が101名と多くの申し込みがありました。台風12号のため中止となりました。今後の予定ですが、9月に第3回幹事会をメールで行いたいと考えています。10/20第1回地区会勉強会、放射線セミナー・第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会を浜松市商工会議所で行います。10/28社会活動、例年行っている可美公園まつりに参加する予定です。内容は、骨密度測定無料体験、乳がん検診無料相談、放射線技師の仕事紹介です。11/23、24メデイメッセ2018があります。詳細は後ほど報告します。以上です

山本会長

次は、常設委員会からで学術委員会からお願いします。

## V 常設委員会理事報告

学術：小林理事

委員会を7月に行いました。そこで、企画申請する平成30年度新春公開講演会について、次に前回理事会で話に出た、松本賞について委員会の人たちに紹介をしました。そこで、松本賞に推薦できる方がいたらお願いしますと話しました。

企画調査：坪内理事

8/2に第1回企画調査委員会を開催しました。委員会の内容としましては、平成30年度の静岡県放射線技師研修会に関して、8/2の時点で決まっている内容を委員の皆さんに報告しました。8/10に、今年度も三回合同で研修会を行う承認を得られましたので、MR部会とアンギオ部会、企画調査の代表が集まり研修会の内容について話

しました。以上です。

## VI 監事（監査報告以外）事務職員

監事：松本理事

特にございません。

事務職員

特にございません。

和田顧問

細かいことですが、胃がん検診の委託事務実施計画書や企画申請書等会員が講師になる場合、氏名のあとに「会員」という場合と「先生」と書いてある場合があります。県に提出する時は自分のところの会員が講師になるときは「先生」はつけないので今後統一されたほうが良いという点が1つ、もう一点は旧鷹匠の事務所の問題がどうなったか、報告してもらえればと思います。

山本会長

旧事務所の売却について、報告させていただきます。先月7/12に売却の手続きを済ませました。配った資料の内容でエステージの尾崎さんと司法書士の渡辺さん、技師会側は、私と栗田会計と松本監事の立会いの下契約をいたしました。結局80万という金額で決まりました。後は固定資産税を1年分払っていますので、返金を清算しまして51,693円となり、トータル851,693円。当日現金で受け取りました。あと相手側の登記費用や仲介手数料、印紙代を払って売買契約を結びました。登記の変更とかいろいろありまして、その前から登記簿の方で、名称が違って、まだ社団法人のまま登録してあったのでそれを公益社団法人に直してとか、そういったいろいろな手続きを司法書士の方にやっていただいて一応全部完了という証書が来ております。それで無事におわりまして、約60万になりました。一応プラスの収入になりましたので、一般会計に入れてありますが、この使

い道を考えていきたいと思っています。このような状況になりましたが、よろしいでしょうか。

#### 和田顧問

ありがとうございます。お金の使い道は、今後いろいろ検討されたいと思いますが放射線技師会が設立されて、平成25年10月25日に65周年記念事業を行ったのですが、それから10月でやっと5年経過しました。この後記念事業をどのくらいの間隔でやっていくのか、今までの歴史を見ると一番はじめに15年史、25年史、35年史、ここから15年刻みで、50年史、65年史でこれが平成25年に終わっています。それから5年たって、さらに10年後で平成40年となっています。

記念事業をするためには、65周年記念事業をやる時に平成22年度末の決算で松本基金が330万円あったわけで。そのうち130万円を記念事業の方へ特別資産というかたちで帳面を別にしてその中に130万円を入れて、翌年から130万円ずつ2年間積立て、3年目の平成25年にやる時に140万円積立てトータル400万円で事業を行いました。そのなかで祝賀会は、会費を集めてやったわけですが、例えば記念誌発刊であるとかそういうものにお金がかかったということで、今後どういう期間で周年記念事業やっていくかわかりませんが、やはりある程度数年前からお金の準備をしないと、なかなか事業はうまくいきません。そのときは、松本基金があったので非常に助かりました。事務所売却で60万円くらいあるのであれば今後、何十年後どういう事業をやるという計画のもとに少しずつお金を一般会計に積み立てて特定資産という形で記念事業の準備預金として貯めていったほうがいいのかと思います。この件は次の執行部になるかもしれませんが、売却資金の今後の使い道の中で技師会のためにどう使うかみなさんでご検討されたいかがと宜しく申し上げます。

#### 山本会長

有難うございます。周年事業を他県では70年で行うところや、愛知県は法人化20周年をやるという案内がきています。愛知県は資産があるから出来ると思います。

#### 和田顧問

愛知は、会員数が1800名ぐらいいますので静岡とはかなり規模が違います。静岡の繰越金を見ても平成30年度繰越金が178万円ぐらいで、以前に私がやっていたころは130万円の一般会計から特別預金に入れると残るのは50万、60万円くらいしか残らないのをうまく運営しながらやるとなると、記念事業自体は計画の中にあるので、いつでもやれるような事業計画にしておいて、いつからお金を積み立てるかということは今後考えていかないといけないということです。

#### 山本会長

有難うございます。

それでは、協議事項に入っていきたいと思えます。

### (3) 協議事項

#### 1、65歳以上会費減額

##### 山本会長

65歳以上の会費減額という提案です。昨年も60歳以上の会費減額というのを出したと思いますが、なかなか財政的に厳しく今回、日放技の方が65歳以上の会費を15,000円から8,000円にするということになりました。それに合わせるのか、合わせないのかというところで、すでに60歳以上無料にしている県もあります。65歳から無料だという県もあります。静岡県も検討してみようという事になりました。あともう一点70歳以上の会費は免除でいいのではないかとという点です。今後定年が60歳以上さらに65歳になるかもしれません。将来的に60歳を超えても働くということがあるので、情

報収集だとかで会員として残って頂きたいところもありますので、それに伴って残れるようなら会費について考えた方が、いいと思ひまして常任のほうでも少し検討して、このような案が出ました。すぐにではないですが、検討してみてもどうかと思ひました。70歳以上会費免除については、定款には、名誉会員は会費無料となっていますが、70歳まで会員になっていること自体功績があるのではないかということで、名誉会員扱いとして70歳以上は無料にしていきたいと思います。65歳以上のところは、日放技が減額試算で、それに足並みをそろえた方がいいので常任では静岡県も一応半額の4,000円という提案でした。だいたい一人当たり会費の費用負担ですが、おおよそ、会誌や送料含めて1,520円、事務所の維持管理費、事務費を合わせると4,000円ぐらいが妥当かなと思ひています。あと会員管理の方から現在の会員数を年代別に割り振りを出して頂きました。60から64歳が23名と少ない気がしますが、年度別で1年間で何人が60歳になるか、20名ぐらいいるのではないかと60から64歳が23ということは、60になると辞めていく人が、多くちょうど団塊の世代で全体的に多かったからと推測がたちます。今後をみていくと同じように20人ぐらいでくる。一回調べたのが、60歳以上の平均退会率が12.4%、70歳以上が21人いるのですが、その内7人は名誉会員なので、14人分マイナス112,000円収入が減り、65から70歳が18人いるのでマイナス72,000円減収となるといえます。60歳からの退会率を会費の減額、無料によって減ると予想をたてると8万円は、年間10人辞める人が残ってくれば8万円になるので、辞めて会費収入が0円になる人が10人残って8,000円×10人で8万円になるので、マイナス72,000円がまかなえるのではないかと考えています。先ほど財政の話が出ましたが、ギリギリのところをやっていて今後60歳で辞めるのを残っていたら、本来60歳ぐらいから対応できればいいのですが、今の財政では厳しいと、昨年理事会で検討

しました。今は新入会員が、増えてきているのですが今後の人口減少で増えてこないかもしれませんが、65歳以上4,000円、70歳以上免除ということでみなさんどうでしょう。

#### 和田顧問

70歳の会費免除の中で日放技の場合50年永年勤続表彰を受けた会員は翌年から無料となりますが、静岡県は無料になっていない。そこをリンクするのであれば、静岡県もそうすれば50年永年勤続となれば多少前後しても、今までの過程でいくと多くは大体72歳から74歳ぐらいで50年永年勤続になるのでそれほど多い人数ではない、ただ両放射線技師会に加入していないと対象になりません。会費免除の導入については、総会決議になるので日放技と同じようにそういう項目を入れたほうが今後いいのではないかと思います。

#### 会長

50年永年勤続表彰を受けた人と条件をつける。

#### 和田顧問

日放技50年表彰を受けると会費免除という形になる。その前に技師会をやめる人が今まで非常に多い。技術学会は、70歳になると永年功労会員という称号をもらって、会費は免除です。会員が増えて、会費が潤沢になっていけばいいのですが、平均的に毎年右肩上がりにはいけばいいのですが、そういうわけにもいかないのである程度会計を抑えながらやるとなると、どこで線引きするかということもあるし、ある程度の年齢になるとどうしても辞めていくとなると同じ事になると思うし、今後事業の中や記念事業でどのぐらいの余剰金が出ていくのか、建物の方は継続的に積み立てて50年ずっといきますので、来年ぐらいで600万円ぐらい貯まってくるので、それは今後後輩たちがこの技師会を盛り上げていく時に、この事務所以外の所へどこでも購入できる資金に貯めてあること

を機会があるごとに広報した方がいいと常に思っています。

#### 会長

今度50年表彰になるのは7の方が対象となります。何かご意見ありますか。

#### 三井理事

在籍年数は、関係ないですか。60歳前に入会するとか、50歳過ぎぐらいから入会するとか、ほぼはないと思いますが可能性はなくはないと思いますが、年齢だけにすると無料になってから入る人がいるかもしれません。

#### 会長

先ほどあったように、表彰を受けた人、35年表彰を受けているという条件をつけたほうがいい。

#### 廣澤副会長

日放技の方の65歳に達して半額になっているのは何か30年表彰などがあってですか。

#### 高橋副会長

そのときは、そういう話はなかった。

#### 山本会長

日放技は60歳で考えたのですが、減額が大き過ぎるので何でも65歳からでは効果がないのでは、60歳で辞めてしまうのを抑えられないのではという意見が出ていますので、第1段階として65歳からにしたということです。せめて県も同じにできればと思っています。このままでいくと1年遅れてしまいます。日放技は来年からで、静岡は総会が5月なのでその次の年からになります。

#### 愛甲理事

30年表彰の10万ですが、働いている内に30年表彰だと50半ばなので、それで日放技はまとめて10

万円払って無料ですよね。60歳までだったらまとめて払って無料ならと考える人もいるのではないのでしょうか。

岐阜県は、会費7,000円で60歳以上まとめて7万円払うと永久に無料だそうです。

#### 山本会長

何かご意見ありますか。皆さんの将来のことで、すので、本来は60歳ぐらいから半額にしておけばいいかもしれませんが、70歳以上は日放技の50年表彰をもらった人と条件をつけたほうがいいですかね。

#### 小林会員

会員にわかりやすいようにJARTの方に合わせるのも1つの手で根拠にもなると思います。

#### 廣澤理事

65歳からでいいと思いますけど60になって静岡県だけ4,000円減額しても、結局日放技には、まるまる払っているのでお得感がないと思うので、65歳で一緒にするのがいいのでは。

#### 山本会長

今は、60歳再雇用で給料が半額か6割になってしまいます。60歳ぐらいで合わせたいのですが、総会に出すには次の理事会がありますので、12月の理事会で決めればいいので、それまでにみなさん考えてきていただきたい。

#### 春田理事

60歳になってこの表でいくと、だいたい1割ぐらいしか残ってない計算になっているのですが、辞めないいい方法がないか、60歳で半額になると少し残ってくれるかなと思いますが。岐阜のように60歳になった時に一括でというのを少し長めにして金額的には払えると思うのですが、辞めてしまう人はやめると思います。

山本会長

日放技の10万円も30年表彰なので、50代で権利が発生して、そのとき10万円払ってしまえば、ずっといけるのですが、それを利用している人はそんなにいない。

小林理事

ちなみに県で同じようなことをやると収入はなくなるのですか。

山本会長

みんなが払ってもらえれば、一時収入は上がるけれどそのあとは、どうなるか会計にシミュレーションしてみてもどうか。

栗田理事

シミュレーションは、なかなか難しいと思います。

小林理事

JARTにデータはありますか。

山本会長

JARTでも推測で資産して、下がれば残ってくれるだろう、辞めるのが半分になるだろうと推測する

小林理事

50代で10年分払ったら、60歳の今辞めてしまったら収入自体がなくなるので、そうやって考えるとプラスになるという考え方もあります。

山本会長

この件に関しては、総会案件になるので次回11月の理事会の時決めたいと思いますので、またいい案がありましたらよろしくお願いします。この件に関しては、保留という事で次回に持ち越したいと思います。

次の議題はメディメッセンジャーへの支援ですが、春田さんから何かありますか。

## 2、メディメッセンジャーへの支援

春田理事

メディメッセンジャー2018でやる内容は、ドローンを使って医薬品輸送を実演したり、医師が手術を実演したりするのを一般のみなさんに見てもらった内容になっています。開催の目的は、医療現場や医療技術を地域の皆さんに公開し、よりよい医療環境の実現を目指す、です。子供さんや医学生にいろいろ医療に関する体験をしてもらう事も目的になっています。日時は、今年11/23、24の2日間です。時間は、10時から16時30分までです。実際に動いてもらう人は、朝から夕方までです。会場は、アクトシティ浜松展示イベントホール。

対象者は、静岡県西部地区エリアを中心とする一般の皆様です。主催は、協和、オズ、浜松市、浜松医師会など協力団体は、資料にのっています。前回3年前に開催した時の県の医療技術職の各会が主になっています。放射線技師だけ地区で出ていて、今回は西部地区会になっています。開催実績ですが、2008年に始まって2015年まで毎年開催していて東部だったり中部だったり交替で開催していました。2016年以降、一旦開催しなかったのですが今年開催することになりました。この先、毎年続けていくかは未定ですが多分終わりではないと思います。来場者は、だいたい平均して6,000人と大きな会になります。西部地区では、どのような事をやるかという、放射線技師の仕事について、MRIについての説明、乳がんについてと検診の啓発。あと体験コーナーとしてワークステーション(AW)を借りるので、それを使って3D画像を実際に作っているのを見せながら説明して、実際に体験してもらいます。その他に、実際に体験してもらうとなるとポータブル装置しかないでその装置を借りて、人間の模型の下にカセットを入れて実際に管球を動かして写真を撮

撮ってみる体験をしてもらいます。それとまだ予定ですが、サーベイメータを使って放射線がどのように出ているかなど体験してもらいます。次に参加人数ですが、1日16人ぐらいを行う予定で考えています。前は1日22人ずつでした。今回は少な目で考えていて、2日で32人と考えています。参加してもらう方には、1日日当1,500円と決まっているので、1,500円と交通費でいたい1人平均2,500円ぐらいで計算しました。企画申請書の中で、助成金として3万円、役員日当交通費ですが、1日16人で計算して8万円ぐらいとしました。

#### 山本会長

内容的には皆さんご理解頂けたでしょうか。今まで過去にも中部地区で担当した時は中部地区会として参加してもらって、東部の時も同じでした。地区会として参加しています。公益法人なので、事業計画に無いものはなかなか出来ないという事で、申請書を出せばいいのですが手続きも大変なものですから、このような形でやっています。それと開催にあたっての協力団体に関して企業色が強いので過去はそういう経緯で地区のほうでやって頂いています。1日1,000円ぐらい負担という事で県の技師会の日当と同じ金額で、1日15人の2日間で3万円という事で、3万円の補助としました。16人という事であれば32,000円に修正してください。

#### 愛甲理事

AWとポータブルは、メーカーから借りるので、

#### 春田理事

その予定です。

#### 山本会長

骨密度と超音波は検査がやるので。

#### 春田理事

検査は、顕微鏡や超音波など持ってくる事ができるものがたくさんあっていいのですが、放射線は、持ってくる事ができるものが少なく、マンモの装置を借りたいと思ったのですがダメだったので、マンモの試触は協和が借りてくれます。

#### 山本会長

その他メディメッセージについて何かありますか。

支援については、1日16人、2日間32,000円で修正してください。メディメッセージの支援について

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 18名

(全会一致承認)

### 3、東海4県親睦会

#### 山本会長

昨年は野球大会を岐阜でやりました。たまたまCCRTがあったので、その前日に野球大会を開催しました。今回は、もう少しいろいろな人が参加できる球技という事でドッジボールになりました。日時は11月3日、対象は、各県4県。場所は藤田衛生大学 体育館です。1チーム12名、各県2チーム以上で最低2チーム24名です。一応1チーム50歳以上3名、女性3名という条件が付きます。親睦会という事で参加お願いします。かかる費用は、交通費、弁当代になると思います。当日、現地集合。傷害保険は各県で入ってもらう。食事自体は、現地で人数分頼んでくれます。持ち物は、体育館シューズを用意して下さい。今のところ決まっているのは、この程度です。ドッジボールのルールは、公式ルールにのっとりやると思います。参加するという事で24名ご協力をお願いします。車のあいのりで行くということでもいいですね。

それでは、東海4県親睦会に参加するという事で

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 18名  
(全会一致承認)

詳細については常任理事会で決めたいと思います。

#### 4、その他

山本会長

その他で、企画申請があります。東部地区のふれあい広場の説明いいですか。

東部組織理事：高屋敷理事

10/20の土曜日に、伊豆の国市蕪山福祉・保健センターで、放射線検査紹介、無料骨密度測定、医療被ばく相談等の内容でふれあい広場を行う予定です。

広報の愛甲さんをお願いしてあります、日放技からパネルを借りてパネルの展示を行います。

11/10に、プラサヴェルデ 407会議室で放射線セミナーと第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会を行う予定です。内容は、企画申請書の通りになります。

山本会長

まず、ふれあい広場の骨密度装置レンタル代が6万円かかるのですか。

高屋敷理事

日立に借りるようになっていて、イベントの補助金で賄えるかどうかかわからないですが。

山本会長

ふれあい広場に関しては、県の方で負担すると思います。

高橋副会長

県技師会として、骨密度装置を持っていてもいいと思いますが、これだけ活用出来て、公開講演の時などに無料で置いておけば呼び込みにもなるし、毎年支払うことを考えれば買った方がいい、検討する必要があると思います。

山本会長

骨密度装置購入の件に関しては、常任で検討したいと思います。それでは、ふれあい広場に関して

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 19名  
(全会一致承認)

11/10の第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会について何かご意見ありますか。

講師料は、技師2名だけですか、メーカーの講師料は入っていますか。

高屋敷理事

メーカーの講師料は支払いません。

山本会長

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 19名  
(全会一致承認)

西部地区ありますか

春田理事

第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会日時10/20、会場 浜松市浜松商工会議所、演題で平野先生とありますが会員となります。大原先生とありますが医師となります。内訳ですけど、講師の謝金ですが医師3万円で33,411円源泉含む。技師の方が1万円で11,137円です。交通費2,000円、役員日当交通費3万円、その他5,000円合計81,548

円です。助成金として20万円かえってきます。

次に 可美まつり2018 日時10/28、例年開催しています。可美まつりに参加します。内容は、企画申請書の通りです。骨密度の装置ですが、無料で借りると考えていたので予算に入れていません。役員日当交通費は、参加者10人ぐらいと予定しています。35,000円、弁当代15,000円、資料代3,000円、その他消耗品消毒液など3,000円となります。

#### 山本会長

西部地区の第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会に関して

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 19名

(全会一致承認)

可美公園まつりは、西部地区のふれあい広場となります。骨密度装置が無料なのか金額が変わるかもしれませんが、参加することに関する承認で、骨密度の件は常任で決めたいと思います。それでは、西部地区のふれあい広場として、可美公園まつりに参加することに関して

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 19名

(全会一致承認)

#### 小林理事

平成30年度新春公開講演会の講師が確定しましたので、企画申請書を出させて顶きました。

日程は平成31年1月12日の土曜日、場所は静岡商工会議所静岡事務所会館5Fホール、対象は診療放射線技師及び静岡県民、教育講演「AI時代に向けて診療放射線技師はどうあるべきか」聖マリアンナ医科大学の教授であります。小林先生に依頼をしました。

公開講演「大腸がんについて」講師は静岡県立総合病院の大端先生にお願いしています。

予算ですが、講師2名で3万円ずつの講師代です。あとは、昨年同様です。

#### 高橋副会長

教育講演は、オープンではなくクローズの形でしょうか。できれば公開講演にして、AIに関して県民の皆さんにも知ってもらいたいのではないかと思います。

両方ともオープンな形でやるのもいいのではと話したのですが、もし先生のほうが間に合うのであれば、県民向けにも、無理なら技師向けで当然いいのですが。

#### 小林理事

メールでやり取りしているのですが、まだ返事が来ていません。時間だけは、先生が忙しいという事がありましたので、2時からやることは電話で出来たのですが、内容についてまでは先生と直接電話出来ていない状況でまだ回答頂いていません。

#### 高橋副会長

また回答を頂いてから、その時変えれば。

#### 小林理事

その時ですが、名前に小林先生の講演は教育講演という名前になるのでしょうか。全体ということになると両方とも公開講演になるのでしょうか。

#### 高橋副会長

もしも公開していい話であれば、公開講演1とか2というかたちにしては。

#### 山本会長

放射線科医も呼べばいいのでは。

### 小林理事

最初はそうだったようですが、神奈川県で以前講演をされていて他に話をお伺いしたところ、全国でも今AIについての講演を放射線技師、放射線医に対してしていて、放射線技師とAIとの関わり合いを先生ご自身が色々な所でお話ししていて、放射線科医のところは、この会でどこまで声をかけていいのかかわからないところがあります。

### 愛甲理事

公開講演となって県に公認をとるとなると、放射線技師の名前が入っているこの演題だと通らないと思いますけど、演題名まで変えて頂かなければならないと思います。

### 小林理事

今回は、一般向けの形でもできますかとお聞きして、演題名を変えて公開講演1、2というかたちで出さして頂く、小林先生自身も本当に、技師や医師にこういう話をしたいとおっしゃっていたので、例えば来年の総会などそういったところで公開にしてもいいのでは。

また、内容は常任のほうでお願いします。

### 山本会長

質問はよろしいでしょうか。

それでは、新春公開講演会について、教育講演にするか公開講演にするかは変更するかもしれませんが開催について

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 18名

(全会一致承認)

### 山本会長

私の方から、先ほど胃がん講習会の県への申請の資料が出たのですが、もう1つデジタルマンモグラフィ講習会も県から委託されています。そ

れについて毎年デジタル講習会をやって、その前は読影と技術講習会、認定試験の講習会を委託されてやっていました。助成金として300万円ぐらいもらっていたのですが、3年ぐらい前からマンモグラフィに関する資格が充足しているという事で減額されて、デジタル講習会をソフトコピー講習会これは医師の方ですが、あとは画像品質管理、技師の方ですが1日ずつ企画してやっていました。

県からは70万円ぐらいもらってやっていました。が今年度に関してまた同じように依頼がきて、技師会の方でやってくださいということですが、去年は技師の撮影技術の講習会は乳腺部会が主体となって独自に開催して、会費も少し値上げしてやりましたが、医師の方は、費用的に足りなくて出来なかったのでやりませんでした。今年になって、以前は医師の試験問題をフィルムの読影というやり方でやっていたのを、5メガのタブレットで試験をやるようになりましたので、デジタルの内容を含めた講習会になり、デジタル講習会として認めてくれるようになりました。医師の方がやりたいという事になりましたので、医師の読影講習会を5メガモニター編ということで、2/23、24にやります。場所は県立がんセンターです。

一応70万円と受講料で賄うので赤字にはならないですが、また企画書を県の方から正式にまだ文章で貰っていないので報告できませんが、そのようなことで進んでいますので、先ほど話があったのですが撮影技術の技師編が12/23、24にやると、医師の方は2月後半にやることになりまして、また企画書は出したいと思いますのでよろしくお願いします。他に何かありますか。

### 愛甲理事

ふれあい広場の募金箱設置場所に関してですが常任では骨密度の待合の骨密度を受ける人の所に置く予定ですが、技師会の行事で一般の人から募

金という事が初の試みで、設置場所として骨密度の待合でいかご意見を頂ければと思いますが、特になければ様子を見ながら決めるという事でやります。

山本会長

義援金の方は、だいぶたくさん集まりましたので、集計して日放技に送ります。日放技の送り先は県単位に送るという事で広島に送るのかわかりませんが、前は日赤を通して送っていたのですが、手数料を取るらしいので日赤を通さないで送るという事です。他によろしいですか、検討する事はありますか。

ないようでしたら、第2回理事会を終わります。お疲れ様でした。

\*議長が第2回理事会の終了宣言をしたので、平成30年8月25日午後5時に理事会を閉会した。

# 行事予定カレンダー (平成30年12月～平成31年3月)

12 月		1 月		2 月		3 月	
1	土	1	火	1	金	1	金
			元旦				
2	日	2	水	2	土	2	土
							第2回放射線セミナー(西部) 第2回胃がん検診従事者講習会(西部) 西部地区総会 東部地区会通常総会 中部地区総会 第2回放射線セミナー(中部) 第2回胃がん検診従事者講習会(中部)
3	月	3	木	3	日	3	日
					第60回東海四県放射線技師学術大会(愛知)		
4	火	4	金	4	月	4	月
5	水	5	土	5	火	5	火
							しずおかジャーナル編集委員会(二校)
6	木	6	日	6	水	6	水
7	金	7	月	7	木	7	木
8	土	8	火	8	金	8	金
	第12回医療安全セミナー						しずおかジャーナル(最終確認)
9	日	9	水	9	土	9	土
10	月	10	木	10	日	10	日
			第18回常任理事会(事務所)				
11	火	11	金	11	月	11	月
					建国記念日		
12	水	12	土	12	火	12	火
			新春公開講演会(第27回アール祭)				
13	木	13	日	13	水	13	水
	第16回常任理事会(事務所)						
14	金	14	月	14	木	14	木
			成人の日		第20回常任理事会(事務所)		第22回常任理事会(事務所)
15	土	15	火	15	金	15	金
16	日	16	水	16	土	16	土
					第75回超音波部会研修会 第5回業務拡大に伴う統一講習会(中部)		3会合同研修会(第50回7インチ部会研修会、第10回静岡県MRI技術研究会、平成30年度静岡県放射線技師研修会)
17	月	17	木	17	日	17	日
18	火	18	金	18	月	18	月
19	水	19	土	19	火	19	火
			第37回放射線技師のためのセミナー		しずおかジャーナル編集委員会(初校)		
20	木	20	日	20	水	20	水
21	金	21	月	21	木	21	木
22	土	22	火	22	金	22	金
					第4回理事会		しずおかジャーナル Vol.28 No.3 発行
23	日	23	水	23	土	23	土
	天皇誕生日 第17回静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会				第16回静岡県マンモグラフィ読影講習会(医師向け)		
24	月	24	木	24	日	24	日
			第19回常任理事会(Web会議)				
25	火	25	金	25	月	25	月
26	水	26	土	26	火	26	火
			第2回放射線セミナー(東部) 第2回胃がん検診従事者講習会(東部)				
27	木	27	日	27	水	27	水
	第17回常任理事会(Web会議)						
28	金	28	月	28	木	28	木
					第21回常任理事会(Web会議)		第23回常任理事会(Web会議)
29	土	29	火			29	金
30	日	30	水			30	土
31	月	31	木			31	日

\* 都合により変更になる場合があります。県技師会・各地区会の広報誌もしくは静岡県技師会ホームページにてご確認ください。  
\* 日放技主催の生涯学習セミナー・ADセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご覧ください。

# 編集後記

- \* 苦手な夏が終わり、日増しに秋が深まって涼しくなり、やがて冬を迎える今日この頃、編集理事として少しは仕事が板についてきたかと思いきやまだまだ至らない点が多々見受けられる毎日に反省しきりであります。  
しかしながら少しずつ編集作業にやりがいを感じつつある自分を自覚するのは我ながら大きな収穫でありました。(常葉)
- \* 先日、下の娘の七五三(7歳)のお参りをしてきました。この前生まれたと思ったらもう小学生。これが最後の七五三かと思うと少しさみしい気がします。年をとるごとに時間が過ぎるのが早くなっていきますね。(山本)
- \* 早いもので今年もあと一か月です。風邪やインフルエンザも流行り始めています。体調を崩さぬよう2018年を乗り切りたいと思います。(杉山)
- \* 秋も深まり、肌寒い日が増えてきました。今年は、私の好きな柿が全国的に豊作のよう?(身内の状況)でうれしいです。今年も残り少ないですが自分自身も実りある年になるよう頑張りたいと思います。(増田)
- \* 3カ月間入院していた父親がやっと自宅に戻ってきました。93歳の高齢のため、長期の入院生活の後、痴呆症になっていました。しばらくは自宅介護で親孝行でもしたいと思っています。(三輪)
- \* 技師会事務所に通う時間にはすっかり日が落ち、冬が近づくのを感じる今日この頃です。寒いのが苦手な私は、先日炬燵を出しました!早く暖かい季節になってほしいです。(渡邊)

会誌「しずおかジャーナル」Vol.28 No.2 2018 平成30年11月30日発行

発行所 : 〒420-0064 静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202  
公益社団法人 静岡県放射線技師会

発行人 : 山本英雄

編集者 : 常葉 勇介

印刷所 : 松本印刷株式会社 〒420-0054 静岡市葵区南安倍1丁目1番18号  
TEL(054)255-4862 FAX(054)253-2309

## 事務所案内

執務時間 : 月曜日～金曜日 午前10時より午後1時まで TEL(054)251-5954  
執務時間外は留守番電話にてお受けいたします。 FAX(054)251-9690

URL <http://shizuhogi.jp>

E-mail address : shizuhogi@ac.auone-net.jp